

平成26年度 羽村市社会福祉協議会事業報告

I 事業概況

1 社協を取り巻く状況

平成26年11月の総務省の発表によれば、日本の年齢別人口は、年少人口及び生産年齢人口を合わせると前年比で137万5千人減少している中であって、65歳以上の高齢者人口は、前年比で110万5千人増加し、社会保障を支える人口の減少と社会保障給付人口の増大という相反する状況が続いています。

こうした高齢化の進展に伴う年金・医療・介護等の社会保障給付費の膨張が国の財政を圧迫しているとして、「持続可能な社会保障制度の確立を図るための改革を推進する法律」（通称：プログラム法）や、これを受けた個別の改革として「医療・介護総合推進法」が成立し、介護保険の要支援者を対象とする一部のサービスを段階的に介護給付から外し、市町村の地域支援事業に委ねるとともに、地域の支え合い体制づくりを推進することで保険給付の効率化を図ることになりました。

その一方で、行政だけでは解決できない貧困の連鎖や社会的孤立をめぐる対応などの地域課題も山積しており、市民の支え合いなどによる地域福祉の推進が一層求められています。

こうした中、当協議会では今後5か年で取り組むべき活動の指針として、第四次羽村社協地域福祉活動計画を平成26年3月に策定しました。

平成26年度は、この活動計画の初年度として、社会福祉協議会を取り巻く状況や制度の見直しに対応しつつ、計画に掲げる各事業を市民とともに着実に推進しました。

2 基本目標別の取組概要

(1) 情報が得やすく、相談しやすいしくみづくり

社協だよりやガイドブックの発行、ホームページ・ふれあい相談、障害者の相談事業、地域福祉権利擁護事業を始めとする福祉サービス総合支援事業などにより、情報提供や相談支援の充実に取り組みました。

(2) 福祉への意識を高め、誰もが活動に参加しやすい環境づくり

福祉への理解促進や担い手づくりとして、講演会や各種講座を開催するなど、福祉ボランティア団体や福祉当事者団体への支援に取り組みました。

(3) 支え合いと助け合いの地域づくり

障害者の交流事業や小地域ネットワーク活動団体への財政支援、備品・機材の提供、講演会や活動団体連絡協議会の開催等に努めました。また、災害時の福祉避難所を想定した防災訓練などにも取り組みました。

(4) 一人ひとりに寄り添う支援体制づくり

介護保険のケアプラン作成やホームヘルプサービスを提供するとともに、生活福祉資金を始めとする各種貸付事業の運営、障害者の就労継続支援B型事業

や生活介護事業、地域活動支援センター I 型事業や日中一時支援事業、特定相談支援事業、住民参加型サービスを提供しました。また、福祉サービスの利用援助や権利擁護に取り組み、判断能力が不十分な人の生活を支援しました。

(5) 地域の人々とともに歩む社協づくり

関係機関との連携や地域に密着した取り組みを推進するとともに、組織体制と財政基盤の強化に努め、地域福祉に関する情報共有、地域の課題発見やその解決などに取り組みました。また、理事会・評議員会の運営や会員加入・寄付の促進などを通して効率的な組織運営や自主財源の確保に努めました。

II 重点事業の取組み

1 新会計制度への移行

平成27年度からの新会計基準適用に向け、担当職員による移行作業検討会を設置し、効率的な移行事務に取り組みました。

*主な取り組み

- ・新会計基準研修への参加（東京都福祉保健局主催）
- ・事業区分、拠点区分、サービス区分、サービス区分の細区分の検討
- ・財務会計システム選定に係る関連業者によるデモンストレーションの実施要請
- ・新会計制度へ移行済み社協からの情報収集
- ・新会計基準内部職員研修の実施
- ・新財務会計システムの選定・導入及び移行作業に係る契約締結
- ・新財務会計システムの一部運用開始 ほか

2 小地域ネットワーク活動ガイドブック（仮称）の発行準備

地域での交流や支え合い活動を支援するため、新たに小地域ネットワーク活動のガイドブックを平成27年度に発行するため内部検討を開始しました。

3 地域へ出向いての活動の充実検討

ボランティア団体の協力を得て、市民、団体、学校などが開催する車いす・アイマスク・高齢者疑似体験等の地域福祉講座を支援し、地域福祉への理解や担い手づくりの推進に努めました。また、職員が地域へ出向いた座談会などを開催していくため、地域の団体などと情報交換を行うための検討を行いました。

4 成年後見活用あんしん生活創造事業の実施に向けた検討

市が設置したプロジェクトチームに参画し、「羽村市成年後見制度利用支援機関のあり方について」の報告書作成に全面的に協力してきましたが、事業開始に向けた市の平成27年度予算措置は見送られました。

5 理事・監事・評議員の改選及び円滑な運営

理事・監事・評議員の任期満了（任期：平成24年4月～平成26年3月）に伴い、役員改選及び役員改選後の理事会及び評議員会の円滑な運営に努めま

した。

Ⅲ 組織運営に関する事項

1 理事会・評議員会・三役会の開催

事業計画・予算、事業報告・決算等の重要案件について定期的に審議しました。

(1) 理事会（5回）／評議員会（4回）の開催状況

会議	議事等	件名	審議結果
平成 26 年 第 3 回 理事会 平成 26 年 4 月 1 日 (理事 14 名) (監事 2 名)	議案 第 21 号	社会福祉法人羽村市社会福祉協議会 会長及び副会長の選任について	互選により会 長に加瀬哲夫 理事、副会 長に志田保夫 理事及び伊藤 保久理事を選 任
		会長職務代理者の指名について	会長が第 1 順 位職務代理者 に志田保夫理 事を第 2 順位 職務代理者に 伊藤保久理事 を指名
		常務理事の指名について	会長が川津紘 順理事を指名
		内部会計監査担当理事の指名について	会長が古川光 昭理事及び橋 本富明理事を 指名
	議案 第 22 号	社会福祉法人羽村市社会福祉協議会 顧問の委嘱に伴う同意について	理事会の同意 を得て、会長 が島田清四郎 氏、宮川英男 氏、大野哲夫 氏、関谷博氏 に委嘱
	その他	1 平成26年度羽村市社会福祉協議会理事会・評議員会等日程について 2 平成 26 年度羽村市社会福祉協議会事務局職員体制について	
平成 26 年 第 4 回 理事会	認定 第 1 号	平成25年度羽村市社会福祉協議会事業報告について	認定
	認定 第 2 号	平成25年度一般会計決算について	認定
	認定 第 3 号	平成25年度公益事業特別会計決算について	認定
	認定 第 4 号	平成25年度緊急生活援護資金貸付特別会計決算について	認定

平成 26 年 第 4 回 理事会 (平成 26 年 5 月 22 日) (理事 15 名) (内書面表決 2 名) (監事 2 名)	認定 第 5 号	平成 25 年度歳末たすけあい運動募金 特別会計決算について	認定
	認定 第 6 号	平成 25 年度障害福祉サービス事業特 別会計決算について	認定
	認定 第 7 号	平成 25 年度地域生活支援事業特別会 計決算について	認定
	認定 第 8 号	平成 25 年度特定相談支援事業特別会 計決算について	認定
	議案 第 23 号	社会福祉法人羽村市社会福祉協議 会評議員の選任に伴う同意について	同意
	依頼事項	平成 26 年度羽村市社会福祉協議会の会員加入のと りまとめについて	
	諸報告 1	平成 26 年度社会福祉法人羽村市社会福祉協議会理 事・監事・評議員の視察研修（案）について	
	諸報告 2	平成 25 年度第三次羽村市地域福祉活動計画実施状 況について	
	諸報告 3	第 17 回羽村市民福祉チャリティーゴルフ大会の開 催結果について	
その他	1 平成 26 年度高齢者レクリエーションのつどいにつ いて（平成 26 年 6 月 13 日（金）・市事業の協賛） 2 平成 26 年度障害者スポーツ・レクリエーション のつどいについて（平成 26 年 6 月 22 日（日）・市 共催事業） 3 平成 26 年度羽村市ボランティア連絡協議会主催 「福祉文化祭」について（平成 26 年 6 月 7 日（土） ～8 日（日）・社協後援） 4 平成 26 年度東京都共同募金会羽村地区配分推せ ん委員会の開催について（平成 26 年 5 月 22 日（木） 午後 5 時 30 分から） 5 平成 26 年度東京都共同募金会羽村地区協力会総 会の開催について（平成 26 年 5 月 22 日（木）午後 6 時 30 分から） 6 平成 26 年度西多摩ブロック地社協連絡協議会役 員研修会について（平成 26 年 7 月 7 日（月）） 7 第 39 回はむら夏まつり（人波おどり）への参加 について（平成 26 年 7 月 26 日（土））		
平成 26 年 第 2 回 評議員会	認定 第 1 号	平成 25 年度羽村市社会福祉協議会事 業報告について	承認
	認定 第 2 号	平成 25 年度一般会計決算について	承認
	認定 第 3 号	平成 25 年度公益事業特別会計決算に ついて	承認
	認定 第 4 号	平成 25 年度緊急生活援護資金貸付特 別会計決算について	承認

平成 26 年 第 2 回 評議員会 (平成 26 年 5 月 22 日) (評議員 34 名)	認定 第 5 号	平成 25 年度歳末たすけあい運動募金 特別会計決算について	承認
	認定 第 6 号	平成 25 年度障害福祉サービス事業特 別会計決算について	承認
	認定 第 7 号	平成 25 年度地域生活支援事業特別会 計決算について	承認
	認定 第 8 号	平成 25 年度特定相談支援事業特別会 計決算について	承認
	依頼事項	平成 26 年度羽村市社会福祉協議会の会員加入のと りまとめについて	
	諸報告 1	平成 26 年度社会福祉法人羽村市社会福祉協議会理 事・監事・評議員の視察研修（案）について	
	諸報告 2	平成 25 年度第三次羽村市地域福祉活動計画実施状 況について	
	諸報告 3	第 17 回羽村市民福祉チャリティーゴルフ大会の開催 結果について	
平成 26 年 第 5 回 理事会 (平成 26 年 8 月 28 日) (理事 15 名) (監事 2 名)	協議 第 1 号	平成 26 年度社協団体会員の加入増強 月間活動及び会員会費収納状況につ いて	了承
	協議 第 2 号	平成 26 年度歳末たすけあい運動募金 の実施について	了承
	報告 第 5 号	平成 26 年度第 1 回内部監査の結果について	
	諸報告 1	主な事業の実施状況について（平成 26 年 4 月～ 8 月 直近）	
	諸報告 2	主な寄付の状況について（平成 26 年 4 月～ 8 月直近）	
	諸報告 3	平成 26 年度敬老の日褒賞事業の実施について	
	諸報告 4	平成 26 年度赤い羽根共同募金の実施について	
	諸報告 5	第 29 回ふれあい福祉まつりの開催について	
	諸報告 6	平成 26 年度羽村市社協福祉大会の実施について	
	諸報告 7	成年後見活用あんしん生活創造事業の取り組み検討 状況について	
その他	1 第 45 回羽村市産業祭への参加について 2 平成 26 年度羽村市社協防災訓練の実施について 3 小地域ネットワーク活動講演会のご案内		

平成 26 年 第 3 回 評議員会 (平成 26 年 8 月 28 日) (評議員 35 名)	報告 第 3 号	平成 26 年度第 1 回内部監査の結果について	
	諸報告 1	主な事業の実施状況について (平成26年 4 月～ 8 月直近)	
	諸報告 2	主な寄付の状況について (平成26年 4 月～ 8 月直近)	
	諸報告 3	平成26年度敬老の日褒賞事業の実施について	
	諸報告 4	第29回ふれあい福祉まつりの開催について	
	諸報告 5	平成26年度羽村市社協福祉大会の実施について	
	諸報告 6	平成26年度社協団体会員の加入増強月間活動及び会員会費収納状況について	
	諸報告 7	平成26年度歳末たすけあい運動募金の実施について	
	その他	1 第45回羽村市産業祭への参加について 2 小地域ネットワーク活動講演会のご案内	
平成 26 年 第 6 回 理事会 (平成 26 年 12 月 16 日) (理事 15 名) (内書面表決 3 名) (監事 2 名)	議案 第 24 号	社会福祉法人羽村市社会福祉協議会職員就業規則の一部を改正する規則について	同意
	議案 第 25 号	平成 26 年度一般会計第 1 次資金収支補正予算について	同意
	報告 第 6 号	平成 26 年度中間監査の結果について	
	報告 第 7 号	新会計基準への移行について	
	報告 第 8 号	成年後見活用あんしん生活創造事業の取り組みに向けた検討状況について	
	報告 第 9 号	平成 26 年度公益財団法人日本財団福祉車両助成事業の交付決定について	
	諸報告 1	平成 27 年度事業運営方針及び予算編成方針について	
	諸報告 2	平成 27 年度理事会・評議員会等日程 (案) について	
	諸報告 3	主な事業の実施状況について (平成 26 年 8 月下旬～ 12 月直近)	
	諸報告 4	平成 26 年度赤い羽根共同募金の実施結果について	
	諸報告 5	第 29 回ふれあい福祉まつりの開催結果について	

平成 26 年 第 6 回 理事会	諸報告 6	平成 26 年度社協団体会員の加入増強月間活動の実施結果について	
	諸報告 7	第 45 回羽村市産業祭への参加結果について	
	諸報告 8	平成 26 年度羽村市社協福祉大会の開催結果について	
	諸報告 9	平成 26 年度東京都共同募金会羽村地区配分推せん委員会の開催結果について	
	諸報告 10	社会福祉法人羽村市社会福祉協議会基金の債券運用に係る債券の選定と購入について	
	その他	平成 27 年度社会福祉法人羽村市社会福祉協議会職員採用について	
平成 26 年 第 4 回 評議員会 (平成 26 年 12 月 16 日) (評議員 32 名)	議案 第 16 号	社会福祉法人羽村市社会福祉協議会職員就業規則の一部を改正する規則について	原案決定
	議案 第 17 号	平成 26 年度一般会計第 1 次資金収支補正予算について	原案決定
	報告 第 4 号	平成 26 年度中間監査の結果について	
	報告 第 5 号	平成 26 年度公益財団法人日本財団福祉車両助成事業の交付決定について	
	諸報告 1	平成 27 年度理事会・評議員会等日程（案）について	
	諸報告 2	主な事業の実施状況について（平成 26 年 8 月下旬～12 月直近）	
	諸報告 3	平成 26 年度赤い羽根共同募金の実施結果について	
	諸報告 4	第 29 回ふれあい福祉まっりの開催結果について	
	諸報告 5	平成 26 年度社協団体会員の加入増強月間活動の実施結果について	
	諸報告 6	第 45 回羽村市産業祭への参加結果について	
	諸報告 7	平成 26 年度羽村市社協福祉大会の開催結果について	
	諸報告 8	平成 26 年度東京都共同募金会羽村地区配分推せん委員会の開催結果について	
	諸報告 9	社協会員会費及び共同募金の活用内容について	

平成 27 年 第 1 回 理事会 (平成 27 年 3 月 12 日) (理事 15 名) (内書面表決 1 名) (監事 2 名)	議案 第 1 号	社会福祉法人羽村市社会福祉協議会 経理規程の制定について	同意
	議案 第 2 号	羽村市福祉センターで行う障害福祉 事業の契約について	原案決定
	議案 第 3 号	社会福祉法人羽村市社会福祉協議会 事務局長の任命について	承認
	議案 第 4 号	平成 26 年度一般会計第 2 次資金収支 補正予算について	同意
	議案 第 5 号	平成 26 年度公益事業特別会計第 1 次 資金収支補正予算について	同意
	議案 第 6 号	平成 26 年度歳末たすけあい運動募金 特別会計第 1 次資金収支補正予算に ついて	同意
	議案 第 7 号	平成 26 年度障害福祉サービス事業特 別会計第 1 次資金収支補正予算につ いて	同意
	議案 第 8 号	平成 26 年度地域生活支援事業特別会 計第 1 次資金収支補正予算について	同意
	議案 第 9 号	平成 27 年度羽村市社会福祉協議会事 業計画について	同意
	議案 第 10 号	平成 27 年予算について	同意
	議案 第 11 号	社会福祉法人羽村市社会福祉協議会 職員就業規則の一部を改正する規則 について	原案決定
	報告 第 1 号	平成 26 年度第 2 回内部会計監査の結果について	
	諸報告 1	平成 26 年度歳末たすけあい運動募金の結果について	
	諸報告 2	主な事業の実施状況について（平成 26 年 12 月中旬～ 平成 27 年 3 月直近）	
	諸報告 3	主な寄付の状況について	
	諸報告 4	後援及び協賛の承認状況について	
	諸報告 5	平成 26 年度はむらふれあい福祉バザーの実施結果に ついて	
	諸報告 6	第 18 回羽村市民福祉チャリティーゴルフ大会の開催 について	
	諸報告 7	平成 27 年度社協職員採用選考結果について	

第1回 理事会	その他	平成27年度理事会・評議員会等日程について	
平成27年 第1回 評議員会 (平成27年 3月12日) (評議員34名)	議案 第1号	社会福祉法人羽村市社会福祉協議会 経理規程の制定について	原案決定
	議案 第2号	平成26年度一般会計第2次資金収支 補正予算について	原案決定
	議案 第3号	平成26年度公益事業特別会計第1次 資金収支補正予算について	原案決定
	議案 第4号	平成26年度歳末たすけあい運動募金 特別会計第1次資金収支補正予算に ついて	原案決定
	議案 第5号	平成26年度障害福祉サービス事業特 別会計第1次資金収支補正予算につ いて	原案決定
	議案 第6号	平成26年度地域生活支援事業特別会 計第1次資金収支補正予算について	原案決定
	議案 第7号	平成27年度羽村市社会福祉協議会事 業計画について	原案決定
	議案 第8号	平成27年度予算について	原案決定
	報告 第1号	平成26年度第2回内部会計監査の結果について	
	諸報告1	平成26年度歳末たすけあい運動募金の結果について	
	諸報告2	主な事業の実施状況について（平成26年12月中旬 ～平成27年3月直近）	
	諸報告3	主な寄付の状況について	
	諸報告4	後援及び協賛の承認状況について	
	諸報告5	平成26年度はむらふれあい福祉バザーの実施結果に ついて	
諸報告6	第18回羽村市民福祉チャリティーゴルフ大会の開催 について		
その他	平成27年度理事会・評議員会等日程について		

(2) 三役会の開催状況（5回）

開催日	協議内容
平成26年5月14日	第4回理事会及び第2回評議員会付議案件について
平成26年8月20日	第5回理事会及び第3回評議員会付議案件について

平成 26 年 12 月 4 日	第 6 回理事会及び第 4 回評議員会付議案件について
平成 27 年 2 月 5 日	平成 27 年度事業計画(案)及び平成 27 年度予算概要(案)について
平成 27 年 3 月 5 日	第 1 回理事会及び第 1 回評議員会付議案件について

2 監査の実施

法人の適正な運営と経理規程に基づく明瞭な会計処理が進められているか監査を受けました。

実施日	区 分	監査者	監査内容
平成 26 年 5 月 13 日	平成 25 年度 決算監査	監事	定款 13 条に基づく監査 (平成 25 年度事業報告、平成 25 年度一般会計及び各特別会計決算、財産状況、理事の業務執行状況等について監査)
平成 26 年 7 月 15 日	平成 26 年度 第 1 回内部監査	監査担当 理事	経理規程第 51 条に基づく監査 (平成 26 年 4 月 1 日から平成 26 年 6 月 30 日までに執行された各会計の執行状況及び現金等の管理状況他について監査)
平成 26 年 10 月 16 日	平成 26 年度 中間監査	監事	定款 13 条に基づく監査 (平成 26 年 4 月 1 日から平成 26 年 9 月 30 日までの理事の業務執行状況及び平成 26 年度上半期事業報告、各会計の執行状況、財産状況等について監査)
平成 27 年 1 月 15 日	平成 26 年度 第 2 回内部監査	監査担当 理事	経理規程第 51 条に基づく監査 (平成 26 年 10 月 1 日から平成 26 年 12 月 31 日までに執行された各会計の執行状況及び現金等の管理状況他について監査)

3 理事・監事・評議員を対象とした研修会の実施と参加

(1) 理事・監事・評議員研修会

理事、監事、評議員による視察研修の機会として、港区高輪にある「ユニセフハウス」を見学するとともに、ユニセフ(国際連合児童基金)の世界の子どものための活動を知り、子どもの命や健康を守る取り組みを視察しました。

- ① 実施日 平成 26 年 6 月 19 日 (木)
- ② 視察先 公益財団法人日本ユニセフ協会内「ユニセフハウス」
- ③ 参加者 37 人 (理事・監事・評議員、職員) ※前年度 34 人

(2) 西多摩ブロック地社協連絡協議会役員研修会

西多摩地域の各社会福祉協議会の理事・監事・評議員を対象とした、地域福祉の積極的な推進と充実を図るための研修会に参加しました。

- ① 実施日 平成 26 年 7 月 7 日 (月)
- ② 会 場 青梅市福祉センター

- ③ 内 容 講演会 ア 演 題：「伝統の風情に思う」
 イ 講 師：星野亮雅氏（社会福祉法人東京都社会福祉協議会副会長・社会福祉法人国分寺市社会福祉協議会顧問・名誉会長）
- ④ 参加者 7人（会長、副会長（1人）、常務理事、理事（2人）、事務局長、総務係長）

(3) 西多摩ブロック地社協連絡協議会会長・事務局長宿泊研修会

- ① 実施日 平成26年11月27日（木）～28日（金）
 ② 視察先 大島町社会福祉協議会及び被災地（土砂崩落現場）
 ③ 参加者 1人（事務局長）

(4) 区市町村社協会長・役員・事務局長研究協議会

社会福祉協議会経営者と運営責任者が一堂に会し、生活困窮者自立支援制度の内容をあらためて確認するとともに、制度による事業の受託如何によらず、地域で生活上の困難を抱える人を地域で支えていくために社協が取り組む方向性について協議するための研究協議会に参加しました。

- ① 実施日 平成26年9月26日（金）
 ② 会加場 中野サンプラザ
 ③ 内加容 <基調講演>
 ア 演 題：「生活困窮者自立支援制度について」
 イ 講 師：金原辰夫氏（厚生労働省社会・援護局地域福祉課生活困窮者自立支援室室長補佐）
 <実践報告>
 ア テーマ：「新たな福祉課題・生活課題に対する社協の取り組み」
 イ 報告者：浦田愛氏（文京区社会福祉協議会地域福祉推進係地域福祉コーディネーター）
 雨宮弘仁氏（世田谷区社会福祉協議会自立生活支援課長）
 副田拓人氏（国分寺市社会福祉協議会自立生活サポートセンター国分寺主任）
- ④ 参加者 4人（副会長（1名）、常務理事、事務局長、総務係長）

4 組織運営に係る規程等の整備

項目	区分	決定日 (施行日)	概要
職員就業規則の一部改正	規則	平成26年12月16日 (平成27年1月1日) 平成27年3月12日 (平成27年4月1日)	<ul style="list-style-type: none"> 職員の給与改定（給料表の改定及び期末手当の改定） ※平成26年4月1日に遡及して適用 職員の給与改定（給料表の改定、地域手当の改定、期末・勤勉手当の支給割合の改定及び3月期末手当の廃止
嘱託職員就業規程の一部改正	規程	平成27年3月25日 (平成27年4月1日)	<ul style="list-style-type: none"> 社協再雇用（嘱託）職員の給料号俸改定 ほか
経理規程の制定 (全部改正)	規程	平成27年3月12日 (平成27年4月1日)	<ul style="list-style-type: none"> 社会福祉法人新会計基準の制定に伴う規程の全部改正
「社協ケアサービス」指定居宅介護支援事業規程の一部改正	規程	平成26年7月23日 (平成26年8月1日)	<ul style="list-style-type: none"> 居宅介護支援事業における介護支援専門員増員に伴う員数の改正

IV 第四次羽村社協地域福祉活動計画に基づく推進事業

基本目標 1 情報が得やすく、相談しやすいしくみづくり

1 情報提供の充実

(1) 情報紙の発行

社会福祉協議会の取り組みが分かりやすく伝わり、地域福祉に対する理解が広がるよう、親しみやすい社協だより（併載：小地域ネットワークだより）の充実に努めました。また、市内主要公共施設（15施設）に社協だよりを設置して広く市民への情報提供を図りました。

① 社協だよりの発行

号	発行日	ページ数	発行部数	備考
第143号	平成26年7月1日	10ページ	27,200部	市内全戸配布
第144号	平成26年10月1日	10ページ	26,200部	市内全戸配布
第145号	平成27年1月1日	10ページ	25,850部	市内全戸配布
第146号	平成27年4月1日	10ページ	25,850部	市内全戸配布

② 小地域ネットワーク活動だよりの発行（社協だより各号に併載）

号	号	ページ数	掲載内容・団体等
第143号	第43号	2ページ	<ul style="list-style-type: none"> 小地域ネットワーク活動について 小作台西福祉委員会
第144号	第44号	2ページ	<ul style="list-style-type: none"> 双葉町松原町内会ふれあい福祉部 緑ヶ丘西町内会福祉部

第145号	第45号	2 ページ	・小地域ネットワーク活動講演会の報告 ・栄町第一町内会
第146号	第46号	2 ページ	・間坂第一町内会 ・本町第一ふれあいの会

※「基本目標3 2福祉ネットワークの推進」に再掲。

③ 福祉ボランティア関連情報の発信

社協だよりに福祉ボランティアのページを設け、福祉ボランティア関連情報を発信しました。

号	掲載内容等
第143号	ボランティア活動に関する相談について、夏！体験ボランティア事業参加者募集、社協登録福祉ボランティア団体紹介、羽村市ボランティア連絡協議会記事掲載協力（ボランティアのひろば）
第144号	夏！体験ボランティア事業報告、ハギレを使った小物づくり講習会参加者募集、はむら夏まつり参加報告
第145号	羽村マジッククラブマジック教室参加者募集、朗読の会「ゆうゆう」ボランティア募集、羽村市ボランティア連絡協議会記事掲載協力（ボランティアのひろば）
第146号	ボランティア保険加入案内、羽村日本語学習会ボランティア募集

(2) 社協ガイドブック等の発行

平成26年度の社会福祉協議会の年間事業をまとめた社協ガイドブック2014を発行し、地域福祉活動などの理解の促進、事業のPRに努めました。

〈社協ガイドブック発行部数〉

年度	発行部数
本年度	240部
前年度	280部

また、各事業やイベントなどのチラシやパンフレットを作成して社会福祉協議会の事業を周知しました。

*主な事業のチラシ等

- ・第17回チャリティーゴルフ大会開催案内
- ・羽村市ファミリー・サポート・センター事業講演会開催案内
- ・2014夏！体験ボランティア参加者募集案内・活動メニュー紹介

(3) ホームページの運営

ホームページの運営により、インターネットの即時性を生かしたきめの細かい事業紹介や関係団体の講座・助成制度紹介、接続先ホームページの掲載などの情報提供の充実に努めました。

更新件数		アクセス件数	
本年度	前年度	本年度	前年度
6回	7回	5,252件	4,422件

(4) 情報コーナーの運営

羽村市福祉センター1階ロビーに設置した情報コーナーに社会福祉協議会の活動や地域福祉に関する冊子、パンフレットなどの資料を収集し、市民等への

情報提供に努めました。

(5) 地域への情報発信

はむら夏まつりや羽村市産業祭等に参加し、社会福祉協議会の活動やボランティア活動、会員加入について積極的な情報発信に努めました。

① 第39回はむら夏まつりへの参加

ボランティアや福祉関係団体との交流を図り親睦を深めるとともに、地域に根ざした社会参加の一環として人波おどりに参加し、併せて社協のPRを行いました。

ア 実施日 平成26年7月26日（土）

イ 参加者 90人（ボランティア、民生委員・児童委員、役員、職員等）

② 第45回羽村市産業祭への参加

ア 実施日 平成26年11月1日（土）～2日（日）

イ 会場 富士見公園

ウ 内容 (ア) パネル展示（社協活動紹介、施設活動紹介）

(イ) 社協会員の加入促進

(ウ) ふれあい募金の実施

(エ) ボランティア活動体験

(オ) 社協PR活動 ほか

(6) 声の広報活動の支援

視覚障害の方に社協だより等の掲載内容を届けるボランティア活動（声のボランティア桑の実・朗読の会ゆうゆう）を市の広報係とともに支援しました。

(7) 小地域ネットワーク活動ガイドブック（仮称）の発行準備

地域での交流や支え合い活動を支援するため、新たに小地域ネットワーク活動ガイドブック（仮称）を平成27年度に発行するため内部検討を進めています。

※「Ⅱ重点事業 2小地域ネットワーク活動ガイドブック（仮称）の発行準備」に再掲。

2 相談支援の充実

(1) ふれあい相談事業の運営（市補助事業）

経験を積んだ専門の相談員によるふれあい相談を実施し、毎日の生活の中から生まれる悩みの問題解決に向けて支援に努めました。

① 対象者 市内在住・在勤の市民等

② 日時 祝日・年末年始を除く毎週木・金曜日午前10時～午後4時

③ 相談員 2名（各日1名）

④ 内容 隣近所のトラブル、相続・遺言、結婚・離婚問題、金銭問題、育児、子どもの悩みなど） ※相談料無料

年度	実施日数	延相談件数
本年度	101日	305件
前年度	98日	317件

(2) 地域活動支援センターI型事業あおばによる相談支援（市受託事業）

障害者が地域において自立した生活を営むことができるよう、情報提供やその家族への支援を行いました。また、障害者のためのパソコン講習会を開催す

るなど、障害者の地域生活の充実や社会参加を支援しました。

<相談支援業務>

① 相談者数（実人員）

障害別区分	本年度	前年度
身体障害	30人	20人
重度身体障害	0人	0人
知的障害	38人	23人
精神障害	13人	12人
発達障害	0人	3人
高次脳機能障害	0人	1人
その他	0人	0人
相談者 計	81人	59人

② 相談内容

支援区分	本年度	前年度
福祉サービスの利用に関する支援	691件	833件
障害や病状の理解に関する支援	0件	0件
健康・医療に関する支援	59件	48件
不安の解消・情緒安定に関する支援	221件	179件
保育・教育に関する支援	0件	4件
家族関係・人間関係に関する支援	32件	43件
家計・経済に関する支援	2件	9件
生活技術に関する支援	135件	57件
就労に関する支援	5件	5件
社会参加・余暇活動に関する支援	2件	0件
権利擁護に関する支援	65件	41件
その他	30件	0件
支援件数 計	1,242件	1,219件

<講習会事業>

① 内 容 パソコン講習会

② 対 象 市内在住の障害者

年度	回数	受講人数	延人数	実施日
本年度	12回	9人	88人	毎月第3又は第4土曜日
前年度	12回	9人	94人	毎月第3又は第4土曜日

(3) ピアカウンセラーによる相談支援（市受託事業）

障害者やその理解者（ピアカウンセラー）による障害者への情報提供や悩み事への相談支援を行いました。

① 身体障害者 毎月第3又は第4土曜日

② 精神障害者 毎月第4火曜日

年度	身体障害		精神障害	
	実施日数	延相談件数	実施日数	延相談件数
本年度	12日	0件	12日	6件
前年度	12日	0件	12日	11件

(4) 障害者支援のための講演会の開催

障害者やその家族を対象に生活の中で直面する問題について講演会を開催しました。また、地域の支援機関の関係者にも参加を呼びかけ、同じ情報を共有することで地域の支援や連携の強化を図りました。

- ① 開催日 平成26年9月26日（金）
- ② 場 所 羽村市福祉センター
- ③ 内 容 演題：「地域の中での障害に応じた自立支援～福祉サービス活用例～」

講師：藤間英之氏（秋川流域生活支援ネットワーク理事長）

- ④ 参加者 75人（障害者、家族、地域の支援機関関係者等）

(5) 福祉サービス総合支援事業による相談支援（市受託事業）

東京都が推進する福祉サービス総合支援事業を市から受託し、利用援助、相談、弁護士による福祉（権利擁護等）法律相談などの実施を通じ、福祉サービスを安心して選択し利用できるよう、総合的な相談支援の充実に努めました。

※詳細は「基本目標4 3 権利擁護事業の推進」に記載のとおり。

基本目標2 福祉への意識を高め、誰もが活動に参加しやすい環境づくり

1 福祉への理解促進と担い手の育成

(1) 地域福祉推進のための講演会・講座等の開催

小地域ネットワーク活動団体とその関係者、羽村市社協福祉大会の参加者を対象に講演会・講座などを開催し、地域福祉の推進に努めました。

(2) 福祉ボランティア・地域福祉活動推進のための講演会・講座等の開催

ボランティア団体などと連携し、ボランティアや地域福祉活動への理解を深め、その活動を始めるきっかけとなる入門講座や福祉活動の活性化・人材育成につながる講演会、講座などを実施しました。

	講習会名	実施日	回数	受講者数	協力団体
1	手話講習会	初級 6/7 ～11/27	全25回	7人	羽村市ろう者福祉協会 羽村手話サークル
		中級 6/6 ～11/28	全25回	10人	羽村市ろう者福祉協会 羽村手話サークル夜の会
2	傾聴ボランティア 養成講座	9/18 ～10/16	全5回	22人	羽村市傾聴ボラン ティア糸でんわ
3	ハギレを使った 小物づくり講習会	11/14 ～11/28	全3回	16人	ふれあいサロン

(3) 地域へ出向いての活動

地域住民、団体、学校などが行う車いす、アイマスク、高齢者疑似体験などの講座開催をボランティア団体の協力を得て支援しました。また、町内会・自治会、

小地域ネットワーク活動団体などへ職員が出向いた座談会などを平成27年度から開催するための検討を行い、地域課題についての情報交換や地域福祉活動支援などの充実に取り組みました。

(4) ボランティア体験事業の実施

ボランティアに対する関心と理解を深め、市民活動やボランティア活動につなげるため、市内の福祉施設等の協力を得て、ボランティア活動が体験できる夏！体験ボランティア事業を実施しました。

① 2014夏！体験ボランティア受入団体事前打合せ会（参加施設7施設）

ア 開催日 平成26年6月11日（水）

イ 内容 実施内容、受入施設紹介、意見交換 ほか

② 2014夏！体験ボランティア参加者説明会・ボランティア入門講座の開催

ア 開催日 平成26年7月19日（土）

イ 参加者 34人

③ 夏！体験ボランティア事業実施状況

（期 間 平成26年7月22日（火）～9月12日（金））

年度	協力施設等	プログラム数	参加者数	中学生以下	高校生・大学生等	社会人等
本年度	40件	46件	98人	57人	35人	6人
前年度	33件	39件	80人	37人	41人	2人

(5) 障害者施設ボランティア受け入れ事業の実施

市から受託している障害福祉サービス事業等の運営において、創作活動事業の講師や外出事業の介助等にボランティアの方々の協力をいただくとともに、障害者への理解や支援への気運の醸成に努めました。

事業名	内容	本年度		前年度	
		回数	備考	回数	備考
いちよう	作業補助	13回	個人(1人)	7回	個人(3人)
	行事協力	4回	個人(4人)	3回	個人(2人)
さくら	外出介助	10回	団体(1団体)	9回	団体(1団体)
	行事協力	1回	個人(4人)	1回	個人(4人)
あおば	創作活動（書道講師）	23回	個人(1人)	24回	個人(1人)

2 ボランティア・地域福祉活動の促進と支援

(1) 福祉ボランティア団体への支援

福祉ボランティアの登録団体に対し、活動費の一部助成や活動場所の提供、資機材の貸出し、登録ボランティア団体活動に係る保険加入、登録団体情報の社協だより掲載など様々な面から支援しました。また、市民が安心してボランティア活動ができるよう、東京都社会福祉協議会が行っているボランティア保険・行事保険の加入受付を行いました。

① 登録ボランティア団体の登録状況

本年度登録団体数	前年度末登録団体数
53団体	57団体

② 登録ボランティア団体活動費の一部助成

年度	申請団体数	交付団体数	助成金総額
本年度	23団体	22団体	221,000円
前年度	25団体	22団体	226,000円

③ ボランティア・行事保険加入手続き状況

区分	本年度件数	前年度件数
ボランティア保険	499件	508件
行事保険	1,560件	1,767件

(2) 福祉ボランティア・地域福祉活動団体の情報提供

一層の地域福祉活動活性化のため、新たにホームページによるボランティア情報の提供方法について検討しました。また、福祉ボランティアや地域福祉活動団体と福祉施設などの受入れ側とのコーディネートを行いました。

① 福祉ボランティア相談・支援状況

内訳	本年度件数	前年度件数
相談及び情報提供	2件	3件
ボランティアの要請	14件	8件

② 福祉ボランティアコーディネート状況

区分	項目	本年度	前年度	依頼内容
在宅高齢者・障害者協力	要請件数	2件	3件	外出支援
	派遣件数	1件	3件	
	延派遣日数	1日	14日	
	延派遣人数	1人	14人	
障害者団体協力	要請件数	0件	1件	
	派遣件数	0件	0件	
	延派遣日数	0日	0日	
	延派遣人数	0人	0人	
福祉施設事業協力	要請件数	5件	2件	高齢者施設へのボランティア派遣
	派遣件数	5件	4件	
	延派遣日数	5日	4日	
	延派遣人数	47人	28人	
社協事業協力	要請件数	8件	8件	チャリティーゴルフ大会、夏まつりなど社協事業等及びボランティア講習会への協力
	派遣件数	8件	8件	
	延派遣日数	48日	73日	
	延派遣人数	1,139人	725人	

その他	要請件数	7件	8件	小学校総合学習、 児童館主催行事等 へのボランティア 派遣
	派遣件数	7件	6件	
	延派遣日数	7日	19日	
	延派遣人数	58人	47人	

(3) 当事者団体（セルフヘルプグループ）の自主活動支援

- ① 障害者やその家族でつくる登録福祉当事者団体に対し、自主活動費の一部助成や活動場所の提供、資機材の貸出し、団体情報の社協だより掲載などによる支援の充実を図りました。

※本年度 羽村市社協登録福祉団体 15団体中13団体（286,314円）

※前年度 羽村市社協登録福祉団体 15団体中14団体（335,256円）

	団体名	今年度助成額 (前年度助成額)	活動内容
1	羽村市身体障害者福祉協会	58,379円 (62,234円)	身体障害者等の会員相互の親睦と社会参加等
2	羽村市手をつなぐ親の会	52,950円 (54,594円)	障害児(者)とその家族の福祉増進と会員相互の親睦等
3	羽村市視力障害者の集まり 「こだま会」	13,622円 (14,594円)	視力障害者が会員相互の親睦と声のボランティア桑の実との交流
4	羽村市ろう者福祉協会	21,496円 (22,792円)	ろう者及び聴覚障害者の会員相互の親睦と福祉向上の事業実施等
5	羽村市精神障害者家族会 「スマイルの会」	6,000円 (14,594円)	精神障害者と家族やボランティア等との交流、講演会や施設見学の実施等
6	アオバズク	22,773円 (23,680円)	障害児の親による福祉活動の勉強会等
7	ぽっぽクラブ	1,119円 (1,245円)	乳幼児早期教育相談、ダウン症児に係る学習・啓発、家族の相互支援等
8	ブルーバード	37,941円 (38,426円)	心身障害児の保護者の情報交換、会員相互の親睦等
9	あそびのグループ虹	0円 (19,061円)	障害者等の余暇活動の企画、実施 ※平成25年度で活動終了
10	FHMの会	23,412円 (28,122円)	精神障害者が地域で暮らしていくための啓発・学習活動、家族間の交流親睦等（福生市・羽村市・瑞穂町にまたがる団体）

11	チューリップの会	8,832 円 (10,330 円)	軽度発達障害児とその親の交流、懇談会（勉強会）の実施等
12	ことばの会	9,790 円 (10,330 円)	脳卒中などの病気により言語と身体に障害のある会員と家族の交流、情報交換等（保健センター機能訓練事業終了後の自主グループ）
13	はむら高次脳機能障害家族会	20,000 円 (23,858 円)	脳梗塞、クモ膜下出血、脳外傷などの後遺症をかかえて生活している当事者や家族の情報交換や講習会への参加等
14	羽村市中途失聴・難聴者「朋の会」	10,000 円 (11,396 円)	聴覚障害者及びその家族・健聴者との交流・学習会等

- ② 羽村市母子寡婦福祉協議会の活動費の一部を助成し、団体の運営が円滑に行われるよう支援しました。

年度	助成額
本年度	50,000 円
前年度	50,000 円

(4) その他の地域福祉活動の支援（児童・生徒に対する非行防止活動支援）

羽村市立小・中学校PTA連合会が行っている児童・生徒非行防止活動（夏休みパトロール事業）の活動費の一部を助成し、地域に必要な福祉活動を支援しました。

- ① 対象校 小学校：7校 中学校：3校 計10校
 ② 助成額 1校あたり5,000円×10校 ※前年度と同額

(5) 後援・協賛の承認

市内及び周辺地域で開催される地域福祉を目的とした事業の後援などにより地域福祉活動を支援しました。また、第33回羽村市高齢者レクリエーションのつどい（市主催事業）を協賛しました。

年度	後援承認	協賛承認	合計
本年度	10件	1件	11件
前年度	8件	1件	9件

※ 第33回羽村市高齢者レクリエーションのつどい

- ・実施日 平成26年6月13日（金）
- ・会場 羽村市スポーツセンター
- ・参加者 649人（含むボランティア、職員）

基本目標3 支え合いと助け合いの地域づくり

1 交流機会の拡充

(1) サロン活動の支援

地域の中で仲間づくりや世代を越えた交流を日常的に行い、人と人を結ぶ「ふ

れあいサロン」の活動場所の提供、使用済切手・テレホンカード収集の支援、資料の提供等を行いました。

(2) 障害者スポーツ・レクリエーションのつどいの開催（市共催事業）

障害者とその家族の心のリフレッシュを図るとともに、ボランティアや関係者との交流、障害福祉に対する理解促進を図るため、市との共催により障害者スポーツ・レクリエーションのつどいを開催しました。

- ① 事業名 第34回羽村市障害者スポーツ・レクリエーションのつどい
- ② 開催日 平成26年6月22日(日)
- ③ 会場 羽村市スポーツセンター
- ④ 参加者 426人(ボランティア、職員を含む)

2 福祉ネットワークの推進

(1) 小地域ネットワーク活動の推進（市補助事業）

地域の中で孤立することなく、安心して暮らしていけるよう、各町内会・自治会の区域を単位として住民が交流し、見守りや声かけによって支え合う小地域ネットワーク活動を支援しました。また、小地域ネットワーク活動団体連絡協議会を開催し、団体間の交流、情報交換、研修会の開催などに努めました。

① 小地域ネットワーク活動団体への支援（市補助事業）

- ア 運営費の助成 1団体あたり12万円×38団体
- イ 情報の提供その他

② 備品・機材等の貸出し

社会福祉協議会会員等が行う地域福祉活動に必要な備品などを貸出し、地域活動の活性化を図りました。

③ 地域福祉活動団体への印刷機の提供支援

羽村市福祉センターロビーに設置した高速カラー印刷機を地域福祉活動団体に提供し、地域福祉活動に必要な広報媒体の印刷などを支援しました。

年度	延利用団体数 (延利用回数)	利用印刷枚数 (片面換算)	利用料収入額
本年度	479 団体 (1, 133 回)	319, 360 枚	511, 917 円
前年度	479 団体 (1, 068 回)	305, 607 枚	526, 754 円

④ 小地域ネットワーク活動団体連絡協議会理事会の開催

- ア 開催日 平成26年5月8日(木)
- イ 内容 副会長の選出、今後の予定 ほか

⑤ 小地域ネットワーク活動団体連絡協議会の開催

- ア 開催日 平成26年5月29日(木)
- イ 会場 羽村市福祉センター
- ウ 参加者 32人
- エ 内容 (ア) 報告事項(理事の選出、役員改選)
(イ) 研修会(第四次羽村社協地域福祉活動計画について)
(ウ) 意見・情報交換 ほか

⑥ 小地域ネットワーク活動団体連絡協議会講演会の開催

ア 開催日 平成26年9月30日（火）

イ 会場 羽村市福祉センター

ウ 参加者 98人

エ 内容 講演会

・演題：「おせっかいなまち光が丘」活動事例～孤独死ゼロをめざして～

・講師：高橋司郎氏（練馬区光が丘地区連合協議会会長）

⑦ 小地域ネットワーク活動だよりの発行

小地域ネットワーク活動団体の活動内容の紹介等を社協だより各号に併載しました。※「基本目標1 1 情報提供充実」に再掲。

⑧ 羽村市社協福祉大会との合同講演会の開催

小地域ネットワーク活動団体連絡協議会とその関係者、羽村市社協福祉大会の参加者を対象に合同講演会を開催し、地域福祉の推進に努めました。

※「基本目標5 1 関係機関との連携、地域に密着した取り組みの推進」に再掲。

ア 開催日 平成26年11月22日（土）

イ 会場 羽村市コミュニティセンター

ウ 参加者 式典111名、講演会150名

エ 内容 演題：「無縁社会の拡大と高齢者の終の住み処」

講師：原 拓也氏（NHK報道局社会番組部ディレクター）

(2) 民生委員活動等との連携

地域のふれあいや見守り機能の充実を図るため、民生委員・児童委員や友愛訪問員が小地域ネットワーク活動団体と連携できるように市へ働きかけました。

3 見守り体制の推進と災害時の支援

(1) あんしん・見守りモデル事業（仮称）の実施に向けた検討

地域のひとり暮らし高齢者や障害者、ひとり親家庭など、地域の支援を必要としている人への見守りや安否確認を行う小地域ネットワーク活動を一層推進するため、モデル事業の実施に向けた検討を進めました。

(2) 災害時要援護者等への支援

社会福祉協議会の全国ネットワークを通じて、各地で発生する災害時の情報などの収集・支援を行いました。また、東京都社会福祉協議会と締結した災害時相互支援協定、羽村市と締結した災害時協力協定、羽村市ボランティア連絡協議会と締結したボランティア派遣に係る覚書及び羽村市防災計画に基づき、関係機関と連携して災害発生時への取り組みを進めました。

① 東京都社会福祉協議会、ボランティア連絡協議会と連携し、災害時を想定した連絡通報訓練を行いました。

② 羽村市福祉センターの防災体制や市が設置する福祉避難所の運営支援を想定し、社協独自の訓練を行いました。

③ 羽村市福祉センター消防計画に基づく訓練の実施

ア 部分訓練（6月期：障害者支援課4事業合同避難訓練）の実施

(ア) 実施日 平成26年6月12日(木)

(イ) 場 所 羽村市福祉センター ※雨天のため大会議室で実施

(ウ) 参加者 障害者支援課利用者55人、職員30人

イ 消防総合訓練（9月期）の実施

羽村市総合防災訓練と同様の想定により、羽村市福祉センター消防計画に基づく羽村市社協防災訓練を実施しました。

<係長以上図上訓練>

(ア) 実施日 平成26年9月3日(水)

(イ) 場 所 羽村市福祉センター役員室

(ウ) 参加者 事務局長（防火総括管理者）、障害者支援課長、総務係長（防火管理者）、地域福祉係長、施設支援係長、相談支援係長

<羽村市社協防災訓練（夜間訓練）>

(ア) 実施日 平成26年9月6日(土)

(イ) 場 所 羽村市福祉センター

(ウ) 参加者 職員13人、臨時職員5人、警備員1人

ウ 部分訓練（11月期：障害者支援課4事業合同避難訓練）の実施

(ア) 実施日 平成26年11月27日(木)

(イ) 場 所 羽村市福祉センター

(ウ) 参加者 障害者支援課利用者57人、職員32人

基本目標4 一人ひとりに寄り添う支援体制づくり

1 福祉サービスの提供

(1) 福祉機器貸出し事業の運営

在宅で生活する要援護高齢者、障害者などの社会福祉協議会会員に対し、一時的に必要な福祉機器（車いす、介護用ベッド）を貸出しました。

年度	車いす	介護用ベッド
本年度	73件	2件
前年度	77件	1件

(2) 居宅介護支援事業の運営

東京都の指定業者として、介護保険に基づく居宅介護支援事業を実施し、契約などに基づいてサービスを提供しました。介護支援専門員（ケアマネジャー）が要介護者等の環境・心身の状態等を把握したうえで、本人の人権、尊厳を尊重し、本人の選択を基本とした介護計画（ケアプラン）を作成しました。

また、その他の介護に関する専門的な相談、サービス提供事業者と行政との調整なども行いました。

項目	本年度	前年度
居宅サービス計画書作成	630件	513件
介護認定調査受託	49件	34件

(3) 訪問介護事業等の運営

東京都の指定業者として、介護保険に基づく身体介護や生活援助などの訪問介護サービス事業を運営しました。また、障害福祉サービス事業として、ホームヘルパーなどを派遣し、障害者への居宅介護サービスや同行援護、移動支援のサービスを提供しました。

① 訪問介護事業等

要介護状態であっても、可能な限り自立した生活を送れるよう、訪問介護（ホームヘルプ）を希望される方に訪問介護員（ヘルパー）を派遣し、身体介護（食事・排泄・衣服の着脱・入浴（身体の清拭・洗髪など）、通院などの介助ほか）や生活援助（調理、衣服の洗濯・補修、住居の清掃・整理整頓、生活必需品の買い物、関連機関との連絡ほか）を行いました。

年度	ヘルパー登録数	利用者数	派遣回数	利用時間
本年度	26人	44人	3,717回	3,462.25時間
前年度	29人	52人	3,984回	4,085.08時間

② 障害福祉サービス事業等

障害者（身体障害者・知的障害者）及び障害児への訪問介護員（ヘルパー）の派遣を行いました。実施にあたっては、羽村市、地域への保健・医療・福祉サービス機関との連携を図りながら、総合的なサービスに努めました。また、同行援護や移動支援などのサービスを提供しました。

年度	ヘルパー登録数	障害福祉サービス事業			地域生活支援事業		
		利用者数	利用回数	利用時間	利用者数	利用回数	利用時間
本年度	18人	13人	1,543回	2,079.5時間	3人	59回	98.5時間
前年度	19人	13人	2,050回	2,401.0時間	2人	50回	115.5時間

(4) 生活福祉資金貸付事業等の運営（東社協受託事業）

低所得世帯、障害者や要援護高齢者のいる世帯の生活の安定と経済的自立を図るため、公共職業安定所や東京都、羽村市等関係機関と連携し、東京都社会福祉協議会が行う生活福祉資金貸付事業、緊急小口資金、総合支援資金、不動産担保型生活資金、要保護世帯向け不動産担保型生活資金、臨時特例つなぎ資金などの周知・受付を行うとともに、民生委員・児童委員の協力を得て世帯の経済的自立に向け指導援助を行いました。

区分	本年度			前年度		
	貸付人数	貸付件数	貸付額	貸付人数	貸付件数	貸付額
生活福祉資金	12人	18件	16,126,719円	3人	5件	6,494,000円
緊急小口資金	14人	14件	290,000円	9人	9件	375,000円
総合支援資金	0人	0件	0円	2人	3件	845,920円
貸付期間延長	0人	0件	0円	1人	1件	600,000円
臨時特例つなぎ資金	0人	0件	0円	0人	0件	0円
合計	26人	32件	16,416,719円	15人	18件	8,314,920円

(5) 緊急生活援護資金貸付事業の運営

社協独自の制度として、低所得世帯で緊急な出費を要する市民に、一時的な生活費を貸し付け、民生委員・児童委員の協力を得て経済的自立に向けた指導援助を行うとともに、貸付金が未償還の人に対しては、督促状の送付や訪問を

行うなど、適正な収納に努めました。

年度	貸付件数	貸付額	未償還額		
			当年度貸付分	過年度貸付分	合計
本年度	0件	0円	0円	941,938円	941,938円
前年度	0件	0円	0円	941,938円	941,938円

(6) 受験生チャレンジ支援貸付事業（市受託事業）

高校や大学の受験に要する学習塾の費用や受験料を一定の所得以下の世帯に貸し付ける受験生チャレンジ支援貸付事業の相談・申請受付などを行いました。

年度	相談	申請	貸付額
本年度	388件	130件	5,688,600円
前年度	361件	125件	7,742,200円

(7) 障害者就労継続支援B型事業いちょうの運営（市受託事業）

障害者総合支援法に基づく障害者の日中活動を支援するための非雇用型の事業として、一般就労が困難な障害者に対し福祉的就労の機会を提供し、生産活動その他の活動の機会を通じ、社会生活及び能力の向上のために必要な訓練などを行いました。

年度	定員	在籍者数	開所日数	延利用者数
本年度	35人	35人	243日	7,515人
前年度	35人	34人	243日	7,244人

① 生産活動

- ア 受託作業 ベアリング加工、照明器具部品加工作業等
- イ 自主作業 資源回収作業等
- ウ その他 小物作り、喫茶事業など

② 生活訓練支援

生産活動や日常訓練を通じて、身辺処理能力、社会性が養われるよう自立に向けた支援を行いました。

③ 給食支援

- ア 給食提供数 242回（延7,506食）
- イ 給食会議 12回

④ 保護者会等

- ア 保護者会 2回
- イ 個別面談 2回

(8) 障害者生活介護事業さくらの運営（市受託事業）

障害者総合支援法に基づく障害者の日中活動を支援するための事業として、常時介護を要する障害者が自立した日常生活・社会生活を営むことができるよう、作業的訓練（生産活動の機会）、日常生活訓練、創作的活動、食事又は排泄などの介護、その他の支援を通じて、日々の健康を維持しながら生活機能の向上のために必要な支援を行いました。

年度	定員	在籍者数	開所日数	延利用者数
本年度	19人	18人	243日	3,420人
前年度	19人	17人	243日	3,122人

① 生産活動

- ア 自主作業 フキン加工作業、資源回収作業
- イ その他 野菜販売

② 機能回復訓練

理学療法士により、個々の障害にあった機能回復訓練を行っています。

③ 生活訓練支援

生産活動や日常訓練の体験を通じて、身辺処理能力、社会性が養われるよう自立に向けた支援を行っています。

④ 給食支援

- ア 給食提供数 242回（延3,369食）
- イ 給食会議 12回

⑤ 保護者会

- ア 保護者会 2回
- イ 個別面談 2回

(9) 地域活動支援センター I 型事業あおばの運営（市受託事業）

障害者が地域において充実した社会生活を営むことができるよう、創作的活動、機能訓練、社会適応訓練、入浴などの各種サービスを提供しました。また障害者の自立と社会参加の促進、身体機能の維持向上を図るとともに、生活上の課題解決に向けて支援しました。

年度	定員	在籍者数	開所日数	延利用者数
本年度	15人	17人	233日	1,977人
前年度	15人	19人	233日	2,017人

① 機能訓練

作業療法士及び理学療法士が、利用者の障害や疾病の内容、進行の状況などを総合的に判断し、利用者一人ひとりに適した訓練プログラムを作成し実施しました。

- ア 作業療法 24回
- イ 理学療法 24回

② 社会適応訓練

言語療法や外出訓練等を通して、コミュニケーション能力や社会適応能力の向上を図りました。

- ア 言語療法 12回
- イ 外出訓練等 52回

③ 創作的活動事業

利用者一人ひとりの障害の内容や能力に応じ、手芸、工作、絵画、書道及び陶芸等の活動援助及び作業等を行いました。

④ 給食サービス

給食提供数 230回（延1,819食）

⑤ 入浴サービス

家庭での入浴が困難な方に、特殊浴槽を使用した入浴介助を行いました。
実施日数 242日（延利用者935人（前年度1,100人））

年度・区分	本年度		前年度	
	あおば	市入浴サービス	あおば	市入浴サービス
定員	15人	—	15人	—
登録者数	17人	8人	19人	8人
開所日数	231日	242日	231日	242日
延利用回数	593人	342人	743人	357人

(10) 障害児日中一時支援事業青い鳥の運営（市受託事業）

障害児の家庭生活・地域生活・社会生活の向上や適応を目的として、年齢に応じ、幼児部は機能訓練及び交流活動を、就学児童部は屋外活動、集団活動及び生産活動などの訓練を行いました。

年度・区分	本年度		前年度	
	幼児部	就学児童部	幼児部	就学児童部
定員	10人	20人	10人	20人
在籍者数	11人	33人	12人	33人
開所日数	240日	237日	240日	237日
延利用者数	557人	2,149人	445人	2,036人

① 幼児部

心身の障害や発語の遅れがある小学校入学前の幼児を対象に、家庭や社会生活の質の向上を目指し、機能訓練や保護者からの相談に対応し、支援を行いました。

ア 機能訓練

専門職による理学療法・作業療法等を行いました。

(ア) 理学療法	12回	(イ) 作業療法	12回
(ウ) 音楽療法	12回	(エ) 言語療法	24回

② 就学児童部

ア 小・中学部

体力づくりや社会性の向上を図るため、散策や集団での活動を中心に支援を行いました。

イ 高等部

卒業後の就労を念頭に、実習として部品加工等の作業訓練を行いました。

(11) 特定相談支援事業の運営

障害福祉サービスを利用する障害者が適切な支援を受けられるよう、本人の意思を尊重したサービス等利用計画（ケアプラン）を作成するとともに、サービス支給決定後のモニタリングを行いました。

項目	本年度	前年度
サービス利用支援（計画作成）	43件	6件
継続サービス利用支援（モニタリング）	33件	8件

(12) 手話通訳者派遣事業の運営（市受託事業）

聴覚及び言語障害者が、家庭や社会での生活を円滑に営むことができるよう、

支援が必要な場合に手話通訳者を派遣し、社会福祉協議会の持つノウハウを生かして地域福祉を推進しました。

年度	手話通訳者	利用者数	延派遣回数	延派遣時間
本年度	登録者 5人	7人(登録25人)	24回	51.0時間
前年度	登録者 6人	5人(登録25人)	16回	34.0時間

2 住民参加型サービスの充実

(1) 高齢者等あったかホームヘルプサービス事業の運営

高齢者や障害者（児）とその家族、ひとり親家庭の方々が安心して在宅生活を継続できるよう、高齢者等あったかホームヘルプサービスを、会員制度により運営しました。また、研修等、協力会員の支援や、他の機関・制度との連携により事業の充実を図りました。

年度	利用会員	協力会員	延利用人数	延利用回数	延利用時間
本年度	301人	121人	660人	3,025回	3,915.0時間
前年度	284人	115人	760人	3,688回	4,863.5時間

(2) ふれあい食事サービス事業の運営（市補助事業）

食事サービスボランティア「千種」などのボランティアの協力を得ながら、毎週木曜日に市内在住の70歳以上の虚弱なひとり暮らしの高齢者等に食事を配り、生活を支援するとともに、引きこもりがちな高齢者等の生活状況の見守りとふれあいを目的に配食サービスを行いました。また、ボランティアの支援や他の機関・制度との連携により事業の充実を図りました。

年度	登録者	延配食回数	延配食数
本年度	45人	51回	1,496食
前年度	48人	51回	1,755食

(3) 福祉有償運送事業（ふれあいキャリー）の運営（市補助事業）

市内在住の公共交通機関の利用が困難な障害者等や要援護高齢者の日常生活における外出を支援し、自立と社会参加を促進するため、運転ボランティア（運行協力員）の協力により、福祉車両3台を使用して福祉有償運送（ふれあいキャリー）サービスを提供しました。なお、運行に際しては、協力員との意見交換や安全運転講習等の研修会等により運行協力員の技能向上を図るとともに、事故の未然防止に努め安全な運行を図りました。

項目	本年度	前年度
利用登録者数	100人	156人
運行協力員登録者数	17人	17人
運行日数	302日	309日
延運行回数	2,658回	3,191回
延利用者数	2,551人	3,211人
講習会等の実施	交通安全講習会 2回 普通救命講習会 1回 運行協力員連絡会議1回 運行協力員研修会 0回	交通安全講習会 2回 普通救命講習会 1回 運行協力員連絡会議1回 運行協力員研修会 1回

(4) ファミリー・サポート・センター事業の運営（市受託事業）

育児の援助に協力できる方（協力会員）と育児の援助を希望する方（利用会員）とで構成する会員組織により、保育施設等の送迎や子どもの預かり等を行い、地域における子育てを支援しました。また、研修等、協力会員の支援や、他の機関・制度との連携を進め、事業の充実に努めました。

年度	登録利用会員	登録協力会員	利用件数
本年度	164人	82人	476件
前年度	166人	83人	724件

3 権利擁護事業の推進

(1) 福祉サービス総合支援事業等の運営（市受託事業）

東京都が推進する福祉サービス総合支援事業を市から受託し、利用援助、相談、弁護士による福祉（権利擁護等）法律相談などの実施を通じ、福祉サービスにおける苦情対応、判断能力が不十分な方の権利擁護相談などを行い、安心して福祉サービスが利用できるよう総合的に支援しました。また、弁護士による苦情などの専門相談などを行いました。

① 利用者サポート

内訳	本年度	前年度
福祉サービス利用に際しての苦情対応	0件	2件
判断能力の不十分な人々の権利擁護相談	14件	23件
成年後見制度の利用相談	29件	3件
その他福祉サービス利用に関する専門的な相談	102件	26件

② 福祉サービス利用援助

内訳	本年度	前年度
日常生活自立支援事業（地域福祉権利擁護事業により実施する）契約件数	8件	6件
要支援・要介護高齢者及び身体障害者に対する福祉サービス利用援助事業の対象拡大件数	2件	2件

③ 弁護士による福祉（権利擁護等）法律相談（苦情対応専門相談含む）

高齢者や障害者などで、判断能力の不十分な人の権利擁護相談や福祉サービス利用の苦情など専門的な相談に弁護士が応じました。

ア 相談日：毎月第4水曜日 午後1時30分～午後4時30分（予約制）

イ 内容：成年後見制度、財産管理、権利侵害、福祉サービスを利用した際の苦情など

区分	項目	本年度		前年度	
		内訳	相談実数	内訳	相談実数
高齢者	成年後見	2件	4件	1件	1件
	権利擁護	1件		0件	
	苦情対応	0件		0件	
	その他	1件		0件	

障害者	成年後見	0件	0件	2件	3件
	権利擁護	0件		0件	
	苦情対応	0件		0件	
	その他	0件		1件	

(2) 地域福祉権利擁護事業の運営（東社協受託事業）

東京都社会福祉協議会から地域福祉権利擁護事業を受託し、認知症や障害などにより、判断能力が不十分な市民に対して、羽村市地域包括支援センターなどの関係機関と連携し、成年後見制度と調整を図りながら福祉サービス利用援助や日常的な金銭管理などの支援を行いました。

① 契約内容別件数

年度	福祉サービス利用援助	日常的な金銭管理	書類等の預かり
本年度	8件	8件	5件
前年度	6件	6件	4件

② 問合せ・相談援助件数

年度	認知症高齢者	知的障害者等	精神障害者等	不明・その他
本年度	319件	204件	168件	30件
前年度	527件	69件	15件	69件

(3) 成年後見活用あんしん生活創造事業の実施に向けた検討

羽村市における成年後見活用あんしん生活創造事業の在り方についての報告書の作成には全面的な協力を行ってきましたが、市の平成27年度予算措置は見送られました。

※「Ⅱ重点事業 4 成年後見活用あんしん生活創造事業の実施に向けた検討」に再掲。

基本目標5 地域の人々とともに歩む社協づくり

1 関係機関との連携、地域に密着した取り組みの推進

(1) ふれあい福祉まつりの開催

市民が支え合う地域社会の実現を目指して、福祉関係団体の活動紹介や市民・福祉関係団体との交流など様々な企画を通じ、福祉への理解と関心を深めていただける福祉まつりの開催を実行委員会事務局として推進しました。

- ① 事業名 第29回ふれあい福祉まつり
- ② 開催日 平成26年10月19日（日）
- ③ 来場者 約2,000人（前年度：約1,200人）
- ④ 内容 ボランティア団体等の発表、ボランティア体験コーナー、模擬店、ふれあいラリーなど
- ⑤ 寄付金額 625,175円（前年度：520,960円）

(2) 行政・福祉等関係機関との連携

社会福祉協議会活動を充実させるため、市などの行政と綿密な関係を構築し、市が開催する官公署等連絡協議会などで情報交換を行いました。また、全国的なネットワークを形成する社会福祉協議会の特性を生かし、西多摩地域の各市

町村社会福祉協議会をはじめ、他の地域の社会福祉協議会との交流や、全国社会福祉協議会又は東京都社会福祉協議会、福祉のネットワーク組織などが開催する会議や行事などへ積極的に参加しました。

(3) 教育関係機関との連携

市の特別支援教育連絡協議会へ出席し、市内の公立学校や関係施設等、教育関係機関との連携を強化し、情報交換を推進しました。また、羽村特別支援学校と市内の特別支援学級と施設運営に関する連携を図り、日ごろからの交流に努めました。さらに、各学校が行う総合学習の時間を利用した福祉教育などへの協力、ふれあい福祉まつりでの活動成果発表などにも積極的に取り組みました。

(4) 企業や民間団体との連携

市内で事業を展開している企業や商工会、ライオンズクラブ、ロータリークラブなどと連携し、情報交換を進め、社会貢献活動の実態などを把握して地域福祉活動と協働を実現することによって、地域の課題解決などの反映に努めました。

(5) 町内会・自治会との連携

社会福祉協議会会員の加入や共同募金活動など、多くの事業や活動に協力をいただいている町内会・自治会と積極的な交流・連携を深め、要請に応じて出前福祉講座や体験学習の場を設け、町内会・自治会活動の活性化の支援に努めました。

(6) 保健・医療関係機関との連携

西多摩地域保健医療協議会などの会議に出席し、情報交換に努めるとともに、保健所、保健センター、医療機関などとの連携を強化し、施設運営や専門的相談などの充実に努めました。

* (2)～(6)の主な連携について

- ① 羽村市及び各分野の関係団体関係者への理事、評議員、各種委員等の委嘱
- ② 羽村市及び各分野の関係団体・機関への委員等の就任
- ③ 羽村市及び各分野の関係団体・機関の協議会、連絡会等への参加
- ④ 羽村市、羽村市町内会連合会、羽村市民生児童委員協議会、東京都社会福祉協議会及び東京都共同募金会等との連携による地域福祉活動の実施
- ⑤ 羽村市及び東京都社会福祉協議会の福祉事業の受託
- ⑥ 東京都社会福祉協議会との災害時相互支援に関する協定の締結
- ⑦ 羽村市地域自立支援連絡会専門部会の運営
- ⑧ 羽村市医師会を通じた嘱託医・産業医の委嘱
- ⑨ 羽村市公共施設見学会の協力 ほか
- ⑩ 実習生等の受け入れ
 - ア 中学生・小学生による社会科見学等 1校 (70人)
 - イ 特別支援学校等児童・生徒職場実習等 3校 (11人)
 - ウ 教員免許法の特例による社会福祉施設介護等体験事業 1人
 - エ 三菱東京UFJ銀行新任研修 1社 (6人)

(7) 地域自立支援協議会専門部会の運営

地域活動支援センターを運営している立場から、市が設置する地域自立支援協

議会の一員として障害者福祉の支援ネットワークの連携に努め、地域自立支援協議会の専門部会では、事務局として運営に携わり、地域課題の抽出や問題解決に向け関係機関等との連携等について協議しました。

- ① 羽村市地域自立支援協議会
 - 第1回 平成26年8月1日（金）出席
 - 第2回 平成27年1月30日（金）出席
- ② 事務局会議の参加（随時）
- ② 羽村市地域自立支援協議会相談支援部会の開催（年3回）
 - 第1回 平成26年6月30日（月）開催
 - 第2回 平成26年10月22日（水）開催
 - 第3回 平成27年1月28日（水）開催
- ④ 羽村市地域自立支援協議会就労支援部会の開催（年3回）
 - 第1回 平成26年6月24日（火）開催
 - 第2回 平成26年10月9日（木）開催
 - 第3回 平成27年1月23日（金）開催

(8) 羽村市社協福祉大会の開催

長年、地域福祉やボランティア活動等に尽力されてきた個人や団体に対して、羽村市社協福祉大会でその功労を表彰し、感謝の意を表するとともに、併せて福祉のまちづくりに関する講演会を小地域ネットワーク活動団体連絡協議会と合同で開催して地域福祉の推進を図りました。

- ① 開催日 平成26年11月22日（土）
- ② 会場 羽村市コミュニティセンター
- ③ 表彰状対象者 団体：9団体 個人：20人
- ④ 感謝状対象者 団体：0団体 個人：7人
- ⑤ 講演会 演題：「無縁社会の拡大と高齢者の終の住み処」
講師：原 拓也氏（NHK報道局社会番組部ディレクター）

(9) 敬老の日褒賞事業の取り組み（市共催事業）

市との共催事業「敬老のつどい」に合わせて金婚式を迎えた夫妻（申請に基づく）及び米寿を迎えた方を褒賞し、古来日本が文化として持っている敬老の精神を地域で啓発し、世代を越えた交流と潤いのあるまちづくりに貢献しました。

*敬老のつどい開催：平成26年9月15日（月）

年度	金婚式褒賞	米寿褒賞
本年度	60組	163人
前年度	61組	157人

2 組織体制と財政基盤の強化

(1) 理事会・評議員会の運営

地域福祉ニーズの変化、多様化などに対応するため、理事会と評議員会の適切な運営と開かれた組織づくりに努めました。

(2) 苦情解決に関する体制の運営

社会福祉事業経営者として、苦情受付担当者や苦情解決責任者、第三者委員の設置により、社会福祉協議会が行う福祉サービスへの利用者からの苦情を円滑、円満に解決するための体制を運営していくとともに、事業への信頼と適正性の確保に努めました。

(3) 個人情報保護に関する体制の運営

個人情報保護の徹底を図るため、個人情報保護管理者（事務局長）の管理・監督のもと、個人情報の適正な取扱いの確保に努めました。

(4) 職員の適正配置と人材育成

効率的な事務事業の執行を図るため、職員の適正配置や内部・外部研修の充実による資質向上、事務処理能力の向上を図りました。

(5) 羽村市福祉センターの運営（市受託事業）

市から管理を受託している羽村市福祉センターを適切に管理・運営しました。併せて、福祉活動の拠点施設として福祉団体やボランティア団体等へ会議室や備品等の貸出しを行うなど、様々な地域福祉事業を展開しました。

年度	開館日数	会議室等貸出件数	備品貸出件数
本年度	359日	1,238件	353件
前年度	360日	1,316件	277件

(6) 会員の確保に向けた取り組み

以下の取り組みにより、会員の継続的・安定的な確保に努めました。

① 強化月間の実施

- ア 個人会員（6～7月）町内会・自治会の協力により戸別訪問を実施
- イ 団体会員（10～11月）理事・監事及び職員による訪問を実施

② 会員加入促進のためのPR活動の実施

社協だより、ホームページでの周知や各種事業（ふれあい福祉まつり、羽村市産業祭）への参加、各町内会掲示板等に会員募集ポスターを掲示してPRに努めました。

<会員加入及び会費集計状況>

区分	本年度	前年度	増減
個人会員	6,882件	7,064件	△182件
会費	3,782,100円	3,899,900円	△117,800円
団体会員	250件	256件	△6件
会費	1,060,000円	1,045,000円	15,000円
会員合計	7,132件	7,320件	△188件
会費合計	4,842,100円	4,944,900円	△102,800円

(7) 寄付の促進に向けた取り組み

社会福祉協議会の事業を財政面から支えていただくため、市民や団体などからの助け合いの精神による募金や寄付金、寄付物品（使用済切手、使用済テレホンカード、書き損じはがき等）の確保に努めました。

また、市民や事業所、各種団体から寄せられた寄付金や寄付物品の状況を社協だよりなどを通じて市民へ報告するとともに、併せて、地域福祉の推進に有

効に活用しました。

＜寄付金等の状況＞

項目等	本年度		前年度	
	件数	金額	件数	金額
一般寄付 ※各実行委員会からの寄付金を含む	141件	6,340,587円	132件	5,758,960円
指定寄付 (ボランティア事業基金)	5件	30,141円	3件	18,370円
ふれあい募金	81件	248,956円	53件	204,695円
合計	227件	6,619,684円	188件	5,982,025円

※参考：各実行委員会からの寄付金の状況

年度	チャリティーゴルフ	ふれあい福祉まつり	ふれあい福祉バザー
本年度	813,187円	625,175円	659,140円
前年度	806,035円	520,960円	604,090円 (平成24年度)

＜寄付物品の状況＞

項目等	本年度	前年度
	件数	件数
使用済切手	306件	288件
使用済テレホンカード	27件	29件
書き損じはがき	19件	14件
その他	69件	62件
合計	421件	393件

＜使用済み切手・使用済みテレホンカード売り上げ状況＞

本年度		前年度	
件数	金額	件数	金額
5件	30,141円	3件	18,370円

(8) ふれあい募金の取り組み

社会福祉協議会が行う地域福祉事業推進の財源とするため、市内の事業所、商店などに「ふれあい募金箱」を設置していただき、多くの方に買い物等により生じた小銭による寄付をお願いしました。また、社協だより等により、ふれあい募金の趣旨や募金箱を設置している協力事業所・商店などを市民に周知するとともに、ふれあい募金箱の新規設置に努めました。さらに、11月に開催された羽村市産業祭でふれあい募金をお願いするとともに、2月をふれあい募金の強化月間とし、募金の回収と事業所等へお礼を行い、引き続きの設置をお願いして募金の確保に努めました。

年度	設置箇所	募金額
本年度	81箇所	248,956円
前年度	80箇所	204,695円

(9) 羽村市民福祉チャリティーゴルフ大会の開催

地域福祉に関する市民意識の高揚を図り、社会福祉協議会への寄付を目的と

するチャリティーゴルフ大会の開催を実行委員会事務局として推進しました。

- ① 事業名 第17回羽村市民福祉チャリティーゴルフ大会
- ② 開催日 平成26年5月16日（金）
- ③ 会場 立川国際カントリー倶楽部
- ④ 参加者数・寄付金額内訳

年度	参加者数（組数）	寄付金額
本年度	220人（58組）	813,187円
前年度	223人（60組）	806,035円

(10) はむらふれあい福祉バザーの開催

社会福祉協議会への売上金寄付を目的として隔年で実施するふれあい福祉バザーの開催を実行委員会事務局として推進しました。

- ① 事業名 平成26年度はむらふれあい福祉バザー
- ② 開催日 平成27年2月22日（日）
- ③ 会場 羽村市福祉センター
- ④ 来場者 約500人（平成24年度：約500人）
- ⑤ 物品数 約4,600点（平成24年度：約3,900点）
- ⑥ 寄付金額 659,140円（平成24年度：604,090円）

(11) 収益金の確保に向けた取り組み

年4回発行している社協だよりに事業所などの広告を有料で掲載し、また、羽村市福祉センター内に設置されている自動販売機設置による手数料の徴収による独自財源の確保に努めました。

年度	広告料収入	手数料収入
本年度	229,600円（6件）	127,680円
前年度	302,400円（8件）	135,124円

(12) 各種募金事業の実施

東京都共同募金会羽村地区協力会の事務局として、赤い羽根共同募金と歳末たすけあい運動募金を展開しました。なお、東京都共同募金会羽村地区配分推せん委員会において、赤い羽根共同募金などを地域のニーズに沿った配分を推進しました。

① 赤い羽根共同募金

10月に町内会・自治会、各事業所・各団体等の協力を得て実施しました。なお、前年度の募金は東京都共同募金会から一定割合が配分され、社会福祉協議会が実施する地域福祉事業費の一部等として活用しました。このほか、各福祉施設等からの申請分については、東京都共同募金会羽村地区配分推せん委員会での審査を得て、東京都共同募金会から配分を受けました。

ア 募金の期間 平成26年10月1日～31日

イ 募金収入 2,772,663円 ※前年度2,796,053円

（内訳）町内会・自治会扱いの募金額 2,653,887円

一般募金（街頭募金・職域募金等） 118,776円

ウ 平成26年度募金分にかかる配分状況（参考）

項目	金額	備考
羽村市社協への地域福祉活動費	700,000円	児童・生徒非行防止活動の助成、敬老の日褒賞事業、登録福祉ボランティア団体の助成、各種講座・講習会等に活用(募金額の約25%)
各町内会・自治会への小地域福祉活動費	212,311円	戸別募金実績に応じて配分(募金額の約8%)

② 歳末たすけあい運動募金

12月に町内会・自治会、民生児童委員協議会等の協力を得て実施しました。募金は、東京都共同募金会羽村地区配分推せん委員会において審査し、民生・児童委員を通じて要援護世帯へ見舞金として贈り、経済的な自立支援を図るほか、残りは東京都共同募金会へ納入後、翌年度に配分され、ふれあいのまちづくり事業などに充当し、小地域福祉活動等の充実を支援しました。

ア 募金の期間 平成26年12月1日～26日

イ 募金収入 3,665,071円 ※前年度3,698,914円
 (内訳) 町内会・自治会扱いの募金額 3,423,882円
 一般募金(団体・個人) 241,189円

ウ 要援護世帯見舞金額 670,000円(46世帯・88人)

エ 平成25年度募金分にかかる配分状況（参考）

配分先	用途	内容	金額
要援護世帯	地域配分(見舞金)	46世帯・89人	675,000円
羽村市社会福祉協議会	地域歳末たすけあい事業費	小地域ネットワーク活動団体への助成等	2,050,000円
		講座・講習会、福祉まつり等(一部)	315,000円
		敬老褒賞事業費(一部)	161,725円
羽村市社会福祉協議会		社協登録福祉団体助成への助成	350,000円
	募金事務費	ポスター、募金袋代等	147,189円

③ 東京都共同募金会羽村地区配分推せん委員会の運営

東京都共同募金会羽村地区配分推せん委員会を運営し、赤い羽根共同募金の一部(地域配分)などについて、羽村地区の住民の福祉ニーズに応じた地域における配分を調整し、東京都共同募金会に対して意見具申を行い、羽村地区の福祉ニーズを反映させました(開催日:平成26年12月9日(火))。

〈赤い羽根共同募金に係る配分〉

ア 全都配分（A配分）申請意見書交付：0件 ※前年度1件

イ 地域配分（B配分）推せん：5件 ※前年度4件

〈歳末たすけあい運動募金に係る配分〉

ア 要援護世帯へ見舞金配分推せん：1件（46世帯・88人）

※前年度1件（46世帯・89人）

イ 羽村市社会福祉協議会が実施する事業への配分推せん

：43件（5事業分）

※前年度43件（5事業分）

V 社会福祉協議会理事・監事・評議員等

○任 期：平成 26 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日

1 理 事（15 人）

役 職 名	氏 名	選 出 分 野
会 長	加 瀬 哲 夫	知識経験者
副 会 長 (第1順位職務代理者)	志 田 保 夫	知識経験者
副 会 長 (第2順位職務代理者)	伊 藤 保 久	町内会連合会会長
常 務 理 事	川 津 紘 順	地域の福祉関係者
理 事	真 鍋 勉	医師会代表
理 事	濱 本 栄 子	ボランティア関係者
理 事	栗 原 玉	地域の福祉関係者
理 事	山 下 忠 義	民生児童委員協議会会長
理 事	石 田 正 弘	商工会代表
理 事	新 井 昭 生	町内会連合会副会長
理 事	古 川 光 昭	ボランティア関係者
理 事	小 林 美 由	知識経験者
理 事	橋 本 富 明	保育園園長
理 事	田 村 義 明	体育協会会長
理 事	雨 倉 久 行	市福祉健康部長

2 監 事（2 人）

役 職 名	氏 名	選 出 分 野
監 事	中 野 祐 司	知識経験者
監 事	川 井 富 美 子	元民生委員・児童委員、市内社会福祉法人（保育園）理事

3 評 議 員（40 人）

役 職 名	氏 名	選 出 分 野
評 議 員	横 田 藤 夫	川崎東町内会
評 議 員	宮 澤 正 弘	川崎西町内会
評 議 員	鈴 木 和 善	上水通り町内会
評 議 員	新 井 昭 生	神明台町内会
評 議 員	上 野 勇	双葉富士見町内会
評 議 員	寺 嶋 孝	双葉町松原町内会
評 議 員	吉 川 精 四 郎	神明台上町内会 (平成 26 年 5 月 21 退任)
	清 水 好 美	神明台上町内会 (平成 26 年 5 月 22 就任)

評 議 員	澤 村 誠 司	神明台住宅自治会
評 議 員	北 島 保	都営神明台自治会
評 議 員	日 請 正 和	本町第一町内会
評 議 員	小 山 行 和	本町第二町内会
評 議 員	加 藤 照 夫	本町第三町内会
評 議 員	岩 波 茂	東第一町内会
評 議 員	石 川 眞	東第二町内会
評 議 員	大 森 暁	清流町内会 (平成 26 年 5 月 21 退任)
	山 本 裕 夫	清流町内会 (平成 26 年 5 月 22 就任)
評 議 員	江 端 武 司	緑ヶ丘第一町内会
評 議 員	武 田 忠 三	緑ヶ丘第二町内会
評 議 員	平 辰 男	緑ヶ丘三丁目町内会
評 議 員	内 田 正 敏	緑ヶ丘西町内会
評 議 員	寺 島 昌 三	五ノ神東町内会
評 議 員	櫻 澤 邦 雄	五ノ神中町内会
評 議 員	石 原 將 司	東台町内会
評 議 員	佐 久 間 英 明	富士見平第一町内会
評 議 員	安 藤 稔	UR羽村団地自治会 (平成 26 年 5 月 21 退任)
	林 俊 明	UR羽村団地自治会 (平成 26 年 5 月 22 就任)
評 議 員	森 田 幸 男	奈賀一町内会
評 議 員	柴 田 辰 男	奈賀二町内会
評 議 員	市 川 二 三 男	田ノ上第一町内会
評 議 員	園 田 清	田ノ上第二町内会
評 議 員	松 田 達 夫	田ノ上第三町内会
評 議 員	新 田 隆	旭ヶ丘町内会
評 議 員	羽 村 誠 一	間坂第一町内会
評 議 員	並 木 邦 夫	間坂第二町内会
評 議 員	浜 中 喜 久 雄	宮地町内会
評 議 員	関 口 幹 夫	美原町内会
評 議 員	高 橋 英 保	小作本町町内会
評 議 員	金 子 博	小作台東町内会
評 議 員	栗 原 悦 男	小作台西町内会
評 議 員	下 田 忠 男	栄町第一町内会
評 議 員	下 田 眞 行	栄町第二町内会
評 議 員	橋 本 芳 明	民生児童委員協議会副会長

4 職員等（96人）※平成27年3月31日現在

- | | |
|--------------|---------------------------|
| (1) 事務局長 | 1人 |
| (2) 総務課職員 | 51人（短時間雇用職員を含む） |
| 課長 | 0人（市派遣職員：平成26年9月28日付解職） |
| 係長 | 2人 |
| 主事 | 5人（内1人は育児休業取得中） |
| 一般事務 | 2人（臨時職員：内1人は生活支援員と兼務） |
| 相談員 | 2人（臨時職員） |
| 介護支援専門員 | 3人（臨時職員：内1人はサービス提供責任者と兼務） |
| サービス提供責任者 | 3人（臨時職員：内1人は介護支援専門員と兼務） |
| ふれあい相談員 | 2人（臨時職員） |
| 生活支援員 | 6人（臨時職員：内1人は一般事務と兼務） |
| 非常勤ホームヘルパー | 26人（臨時職員） |
| (3) 障害者支援課職員 | 44人（短時間雇用職員を含む） |
| 課長（施設長） | 1人（市派遣職員） |
| 係長 | 2人 |
| 主任 | 3人 |
| 主事 | 2人 |
| 支援員 | 30人（臨時職員） |
| 看護師 | 2人（臨時職員） |
| 栄養士 | 1人（臨時職員） |
| 一般事務 | 1人（臨時職員） |
| 相談員 | 1人（臨時職員） |
| ピアカウンセラー | 1人（臨時職員） |

平成26年度 羽村市社会福祉協会総括会計 財産目録

平成27年3月31日現在

(単位：円)

資産・負債の内訳		金額
I	資産の部	
1	流動資産	
	現金預金	
	現金	50,000
	小口現金	一般会計法人運営経理区分 50,000
	普通預金	30,497,459
	一般会計	西多摩農業協同組合 本店 普通 0157727 13,025,386
	生活福祉資金貸付事業(事務費)経理区分	西多摩農業協同組合 本店 普通 1908003 0
	羽村市福祉センター管理事業経理区分	西多摩農業協同組合 本店 普通 3053889 488,221
	緊急生活援護資金貸付特別会計	西多摩農業協同組合 本店 普通 0157784 814,824
	歳末たすけあい運動募金特別会計	西多摩農業協同組合 本店 普通 3088232 0
	障害者就労継続支援B型事業経理区分	西多摩農業協同組合 本店 普通 0069121 5,152,482
	障害者生活介護事業経理区分	西多摩農業協同組合 本店 普通 0069143 3,838,124
	地域活動支援センターI型事業経理区分	西多摩農業協同組合 本店 普通 0092457 4,401,542
	障害児日中一時支援事業経理区分	西多摩農業協同組合 本店 普通 0069109 1,648,705
	特定相談支援事業特別会計	西多摩農業協同組合 本店 普通 0092394 1,128,175
	未収金	12,734,015
	一般会計	介護保険収入、障害福祉サービス介護給付収入等 11,533,149
	公益事業特別会計	清涼飲料水自動販売機等電気料 41,933
	その他の特別会計	就労支援事業収入等 1,158,933
	流動資産合計	43,281,474
2	固定資産	
	(1) 基本財産	
	基本財産特定預金	西多摩農業協同組合 本店 普通 3083522 1,000,000
	基本財産合計	1,000,000
	(2) その他の固定資産	
	車輛運搬具	車輛7台 3,933,942
	器具及び備品	29件(事務用パソコン、高速カラー印刷機等) 4,362,881
	ソフトウェア	2件(財務会計システム、給与計算システム) 0
	退職共済預け金	東社協従事者共済会退職共済預け金(12名分) 12,243,768
	退職金積立基金積立預金	※平成27年3月31日付 14名中2名退職 60,435,968
	運用財産基金積立預金	30,020,530
	ボランティア事業基金積立預金	38,103,389
	ふれあいのまちづくり推進基金積立預金	13,135,395
	障害者等事業活動基金積立預金	6,517,497
	・羽村市社会福祉協議会基金(1)	西多摩農業協同組合 本店 定期 26153779 10,000,000 (計148,212,779)
	・羽村市社会福祉協議会基金(2)	西多摩農業協同組合 本店 普通 3095997 38,212,779
	・羽村市社会福祉協議会基金(3)	青梅信用金庫 羽村支店 定期 0432729 10,000,000
	・羽村市社会福祉協議会基金(4)	多摩信用金庫 羽村支店 定期 0236637 10,000,000
	・羽村市社会福祉協議会基金(5)	西武信用金庫 羽村支店 定期 0020008 5,000,000
	・羽村市社会福祉協議会基金(6)	西武信用金庫 小作支店 定期 0020009 5,000,000
	・羽村市社会福祉協議会基金(7)	SMB C日興証券(株) 国債 30,000,000
	・羽村市社会福祉協議会基金(8)	SMB C日興証券(株) 地方債 30,000,000
	・羽村市社会福祉協議会基金(9)	SMB C日興証券(株) 地方債 10,000,000 (計148,212,779)
	貸付事業貸付金	緊急生活援護資金貸付特別会計 941,938

その他の固定資産合計		169,695,308
固定資産合計		170,695,308
資産の部合計		213,976,782
II 負債の部		
1 流動負債		
未払金		27,402,081
一般会計	職員退職金、臨時職員賃金、社協運営費助成金返還金等	13,917,887
公益事業特別会計	受託金返還金、業務委託費等	530,154
その他の特別会計	臨時職員賃金、受託金返還金等	12,954,040
預り金		1,444,945
一般会計	社会保険料個人負担分等	1,444,945
流動負債合計		28,847,026
2 固定負債		
退職給与引当金	東社協従事者共済会退職共済引当金（12名分）	12,243,768
固定負債合計		12,243,768
負債の部合計		41,090,794
差引純資産		172,885,988

平成26年度 羽村市社会福祉協議会総括会計 貸借対照表

平成27年3月31日現在

(単位：円)

資産の部				負債の部			
	当年度末	前年度末	増減		当年度末	前年度末	増減
流動資産	43,281,474	38,440,586	4,840,888	流動負債	28,847,026	26,750,273	2,096,753
現金	50,000	50,000	0	短期運営資金借入金	0	1,163,059	△ 1,163,059
預貯金	30,497,459	32,271,284	△ 1,773,825	未払金	27,402,081	24,617,304	2,784,777
未収金	12,734,015	4,956,243	7,777,772	預り金	1,444,945	969,910	475,035
立替金	0	1,163,059	△ 1,163,059	固定負債	12,243,768	13,342,608	△ 1,098,840
固定資産	170,695,308	173,923,401	△ 3,228,093	退職給与引当金	12,243,768	13,342,608	△ 1,098,840
基本財産	1,000,000	1,000,000	0	その他の固定資産	0	0	0
基本財産特定預金	1,000,000	1,000,000	0	負債の部合計	41,090,794	40,092,881	997,913
その他の固定資産	169,695,308	172,923,401	△ 3,228,093	純資産の部			
車輛運搬具	3,933,942	4,153,599	△ 219,657	基本金	1,000,000	1,000,000	0
器具及び備品	4,362,881	5,729,939	△ 1,367,058	基本金	1,000,000	1,000,000	0
ソフトウェア	0	0	0	基金	1,628,938	1,628,938	0
退職共済預け金	12,243,768	13,342,608	△ 1,098,840	貸付基金	1,628,938	1,628,938	0
退職金積立基金積立預金	60,435,968	61,424,357	△ 988,389	国庫補助金等特別積立金	2,848,515	2,794,749	53,766
運用財産基金積立預金	30,020,530	30,020,530	0	国庫補助金等特別積立金	2,848,515	2,794,749	53,766
ボランティア事業基金積立預金	38,103,389	38,026,389	77,000	その他の積立金	148,212,779	148,755,317	△ 542,538
ふれあいのまちづくり推進基金積立預金	13,135,395	13,135,395	0	退職金積立基金	60,435,968	61,424,357	△ 988,389
障害者等事業活動基金積立預金	6,517,497	6,148,646	368,851	運用財産基金	30,020,530	30,020,530	0
貸付事業貸付金	941,938	941,938	0	ボランティア事業基金	38,103,389	38,026,389	77,000
				ふれあいのまちづくり推進基金	13,135,395	13,135,395	0
				障害者等事業活動基金	6,517,497	6,148,646	368,851
				次期繰越活動収支差額	19,195,756	18,092,102	1,103,654
				次期繰越活動収支差額	19,195,756	18,092,102	1,103,654
				(うち当期活動収支差額)	561,116	6,413,695	△ 5,852,579
				純資産の部合計	172,885,988	172,271,106	614,882
資産の部合計	213,976,782	212,363,987	1,612,795	負債及び純資産の部合計	213,976,782	212,363,987	1,612,795

脚注1 減価償却費の累計額〔総額：21,329,120円（うち国庫補助金等の額2,320,785円）〕

- (1) 一般会計 19,815,253円（うち国庫補助金等の額1,414,374円）
- (2) 公益事業特別会計 278,775円
- (3) 障害福祉サービス事業特別会計 1,235,092円（うち国庫補助金等の額906,411円）

平成26年度 羽村市社会福祉協議会総括会計 資金収支決算書

(自)平成26年4月1日

(至)平成27年3月31日

(単位:円)

勘定科目		予算額	決算額	差異	備考
經常(福祉事業)活動による収支	収入				
	会費収入	4,845,000	4,842,100	2,900	
	寄付金収入	6,606,000	6,619,684	△13,684	
	經常経費補助金収入	56,246,000	54,657,027	1,588,973	
	受託金収入	189,071,000	184,097,021	4,973,979	
	事業収入	5,660,000	5,509,937	150,063	
	貸付事業等事業収入	112,000	0	112,000	
	共同募金配分金収入	3,576,000	3,576,725	△725	
	歳末募金収入	3,667,000	3,665,071	1,929	
	介護保険収入	17,641,000	17,977,928	△336,928	
	障害福祉サービス介護給付費収入	6,234,000	6,392,935	△158,935	
	障害福祉サービス等事業収入	568,000	1,171,981	△603,981	
	雑収入	2,732,000	2,714,751	17,249	
	受取利息配当金収入	210,000	210,965	△965	
	会計単位間繰入金収入	2,323,000	2,321,578	1,422	
	経理区分間繰入金収入	6,856,000	6,499,698	356,302	
	經常(福祉事業)収入計(1)	306,347,000	300,257,401	6,089,599	
	支出				
	人件費支出	199,447,000	196,099,206	3,347,794	
	事務費支出	62,539,000	60,473,266	2,065,734	
	事業費支出	24,026,000	21,659,392	2,366,608	
	貸付事業等支出	100,000	0	100,000	
	共同募金配分金事業費	3,527,000	3,513,314	13,686	
	納付金支出	2,849,000	2,848,934	66	
	助成金支出	3,287,000	3,216,360	70,640	
	会計単位間繰入金支出	2,000,000	1,996,578	3,422	
経理区分間繰入金支出	6,856,000	6,499,698	356,302		
經常(福祉事業)支出計(2)	304,631,000	296,306,748	8,324,252		
經常(福祉事業)活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	1,716,000	3,950,653	△2,234,653		
施設整備等による収支	収入				
	施設整備等寄付金収入	900,000	900,000	0	
	固定資産売却収入	100,000	100,000	0	
	施設整備等収入計(4)	1,000,000	1,000,000	0	
	支出				
固定資産取得支出及び繰入支出	2,030,000	2,002,960	27,040		
施設整備等支出計(5)	2,030,000	2,002,960	27,040		
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△1,030,000	△1,002,960	△27,040		
財務活動による収支	収入				
	積立預金取崩収入	4,993,000	4,991,441	1,559	
	財務収入計(7)	4,993,000	4,991,441	1,559	
	支出				
積立預金積立支出	4,450,000	4,448,903	1,097		
財務支出計(8)	4,450,000	4,448,903	1,097		
財務活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	543,000	542,538	462		
就労支援活動による収支	収入				
	就労支援事業収入	9,058,000	9,423,096	△365,096	
	就労支援事業活動収入計(10)	9,058,000	9,423,096	△365,096	
	支出				
	就労支援事業支出	10,281,000	9,844,192	436,808	
会計単位間繰入金支出	325,000	325,000	0		
就労支援事業活動支出計(11)	10,606,000	10,169,192	436,808		
就労支援事業活動資金収支差額(12)=(10)-(11)	△1,548,000	△746,096	△801,904		
予備費(13)	200,000	0	200,000		
当期資金収支差額合計(14)=(3)+(6)+(9)+(12)-(13)	△519,000	2,744,135	△3,263,135		
前期末支払資金残高(15)	11,483,000	11,690,313	△207,313		
当期末支払資金残高(14)+(15)	10,964,000	14,434,448	△3,470,448		

平成26年度 羽村市社会福祉協議会総括会計 事業活動収支決算書

(自) 平成26年4月1日

(至) 平成27年3月31日

(単位:円)

勘定科目		当年度決算額	前年度決算額	増減	備考
(福祉) 事業活動収支の部	収入				
	会費収入	4,842,100	4,944,900	△ 102,800	
	寄付金収入	6,619,684	5,982,025	637,659	
	経常経費補助金収入	54,657,027	59,308,790	△ 4,651,763	
	受託金収入	184,097,021	184,669,987	△ 572,966	
	事業収入	5,509,937	6,523,953	△ 1,014,016	
	共同募金配分金収入	3,576,725	3,655,665	△ 78,940	
	歳末募金収入	3,665,071	3,698,914	△ 33,843	
	介護保険収入	17,977,928	18,151,985	△ 174,057	
	障害福祉サービス介護給付費収入	6,392,935	7,666,671	△ 1,273,736	
	障害福祉サービス等事業収入	1,171,981	206,000	965,981	
	雑収入	2,714,751	250,283	2,464,468	
	(福祉) 事業活動収入計 (1)	291,225,160	295,059,173	△ 3,834,013	
	支出				
人件費支出	196,099,206	196,089,086	10,120		
事務費支出	60,473,266	57,276,380	3,196,886		
事業費支出	21,659,392	24,094,853	△ 2,435,461		
共同募金配分金事業費	3,513,314	3,650,000	△ 136,686		
納付金支出	2,848,934	2,876,725	△ 27,791		
助成金支出	3,216,360	3,407,896	△ 191,536		
減価償却費	2,575,141	1,815,171	759,970		
(福祉) 事業活動支出計 (2)	290,385,613	289,210,111	1,175,502		
事業活動収支差額 (3)=(1)-(2)	839,547	5,849,062	△ 5,009,515		
事業活動外収支の部	収入				
	受取利息配当金収入	210,965	209,834	1,131	
	会計単位間繰入金収入	2,321,578	3,695,022	△ 1,373,444	
	経理区分間繰入金収入	6,499,698	8,383,013	△ 1,883,315	
	事業活動外収入計 (4)	9,032,241	12,287,869	△ 3,255,628	
	支出				
	会計単位間繰入金支出	1,996,578	2,442,248	△ 445,670	
	経理区分間繰入金支出	6,499,698	8,383,013	△ 1,883,315	
労務費支出	7,654,386	7,427,064	227,322		
事業活動外支出計 (5)	16,150,662	18,252,325	△ 2,101,663		
事業活動外収支差額 (6)=(4)-(5)	△ 7,118,421	△ 5,964,456	△ 1,153,965		
就労支援事業活動 収支の部	収入				
	就労支援事業収入	9,423,096	9,481,985	△ 58,889	
	就労支援事業活動収入計 (7)	9,423,096	9,481,985	△ 58,889	
	支出				
就労支援事業販売原価	2,514,806	3,074,382	△ 559,576		
就労支援事業活動支出計 (8)	2,514,806	3,074,382	△ 559,576		
就労支援事業活動収支差額 (9)=(7)-(8)	6,908,290	6,407,603	500,687		
経常収支差額 (10)=(3)+(6)+(9)	629,416	6,292,209	△ 5,662,793		
特別収支の部	収入				
	施設整備等寄付金収入	900,000	540,000	360,000	
	固定資産売却収入	100,000	50,000	50,000	
	国庫補助金等特別積立金取崩額	846,234	696,236	149,998	
	特別収入計 (11)	1,846,234	1,286,236	559,998	
	支出				
	固定資産売却損及び処分損(売却原価)	1,014,534	124,749	889,785	
国庫補助金等特別積立金積立額	900,000	540,000	360,000		
元入金組入額		500,000	△ 500,000		
特別支出計 (12)	1,914,534	1,164,749	749,785		
特別収支差額 (13)=(11)-(12)	△ 68,300	121,487	△ 189,787		
当期活動収支差額 (14)=(10)+(13)	561,116	6,413,696	△ 5,852,580		

平成26年度 羽村市社会福祉協議会総括会計 事業活動収支決算書

(自) 平成26年4月1日

(至) 平成27年3月31日

(単位:円)

勘定科目	当年度決算額	前年度決算額	増減	備考
繰越活動収支差額の部				
前期繰越活動収支差額 (15)	18,092,102	16,934,579	1,157,523	
当期末繰越活動収支差額 (16)=(14)+(15)	18,653,218	23,348,275	△ 4,695,057	
基本金取崩額 (17)	0	0	0	
基本金組入額 (18)	0	0	0	
その他の積立金取崩額 (19)	4,991,441	0	4,991,441	
その他の積立金積立額 (20)	4,448,903	5,256,173	△ 807,270	
次期繰越活動収支差額 (18)=(13)+(14)-(15)+(16)-(17)	19,195,756	18,092,102	1,103,654	

【一般会計】

- 脚注1 固定資産売却損及び処分損（その他の固定資産売却損・処分損）：車輛運搬具2台廃車に伴う除却
△212,028円
- 脚注2 固定資産売却損及び処分損（その他の固定資産売却損・処分損）：※新会計基準への移行を踏まえ、
減価償却終了や現在使用していない廃棄扱い等の器具及び備品33件に係る除却
△802,506円
- 脚注3 固定資産売却収入（その他の固定資産売却収入）：車輛運搬具2台廃車に係る売却益
100,000円

監査報告書

平成27年5月28日

私たち監事は、平成26年4月1日から平成27年3月31日までの平成26年度の事業年度に関して、理事の業務執行の状況及び社会福祉法人羽村市社会福祉協議会の財産の状況について監査いたしました。その結果につき以下のとおり報告いたします。

1 監査の方法の概要

監事は、理事会その他重要な会議に出席するほか、平成27年5月15日（金）に羽村市福祉センターにおいて監査を実施し、事務局長及び職員からその職務の執行状況を聴取し、重要な決裁書類等を閲覧し、以下の課・係が所管する各会計単位における業務及び財産の状況を調査しました。また、会計帳簿等の調査を行い、計算書類及び事業報告書につき検討いたしました。

- (1) 事務局総務課（総務係、地域福祉係、ケアサービス係）所管会計単位・経理区分
 - ① 一般会計(13 経理区分)
 - ② 公益事業特別会計（1 経理区分）
 - ③ 緊急生活援護資金貸付特別会計
 - ④ 歳末たすけあい運動募金事業特別会計
- (2) 事務局障害者支援課（施設支援係、相談支援係）所管会計単位・経理区分
 - ① 障害福祉サービス事業特別会計（2 経理区分）
 - ② 地域生活支援事業特別会計（2 経理区分）
 - ③ 特定相談支援事業特別会計

2 監査の結果

- (1) 平成26年度の事業計画及び第四次羽村社協地域福祉活動計画に掲げる多様な事務事業は、概ね計画どおり実施されています。これにより定款に規定する市民福祉、地域福祉の増進・向上が図られたことを認めます。
- (2) 会計帳簿は、法令及び定款に基づき記載すべき事項を正しく記載し、貸借対照表、事業活動収支決算書及び資金収支決算書の記載と合致しているものと認めます。
- (3) 事業活動報告書は、法令及び定款に従い、法人の状況を示しているものと認めます。
- (4) 理事の業務執行についても、理事会等を通じて活発な質疑や意見交換等が行われており、適切な内部牽制機能が果たされていることを確認いたしました。
- (5) 社会福祉法の一部改正に伴う所轄庁の変更、その他法改正に伴う事業の見直し等に関し、定款変更や認可申請、関係規程の整備等について速やかに事務処理を行うとともに、予算確保等においても適切に対応していることを確認しました。